旧守口本署解体工事

図面番号	建　築　図	縮 尺	図面番号	構　造　図	縮 尺	図面番号	電　気　設　備　図	縮 尺	図面番号	機　械　設　備　図	縮 尺
Ａ－０１	表紙・図面リスト	—	Ｓ－０１	基礎・地中梁伏図	1/100.200	Ｅ－０１	電気設備工事　特記仕様書	—	Ｍ－０１	機械設備工事　特記仕様書１	—
Ａ－０２	解体工事特記仕様書１	—	Ｓ－０２	1-4階柱・壁・床梁伏図	1/200	Ｅ－０２	付近見取図兼配置図	1/200	Ｍ－０２	機械設備工事　特記仕様書２	—
Ａ－０３	解体工事特記仕様書２	—	Ｓ－０３	軸組図１	1/300	Ｅ－０３	照明器具姿図	—	Ｍ－０３	機械設備　付近見取図兼配置図	1/200
Ａ－０４	付近見取図兼配置図	1/150	Ｓ－０４	軸組図２	1/300	Ｅ－０４	電気設備　１階平面図	1/100	Ｍ－０４	機械設備　機器表・器具表（撤去）	—
Ａ－０５	仮設計画図(1)	1/100	Ｓ－０５	床伏図・鉄骨軸組図	1/150	Ｅ－０５	電気設備　２階平面図	1/100	Ｍ－０５	衛生設備　１階平面図（撤去）	1/100
Ａ－０６	仮設計画図(2)	1/100				Ｅ－０６	電気設備　３階平面図	1/100	Ｍ－０６	衛生設備　２階平面図（撤去）	1/100
Ａ－０７	仮設計画図(3)	1/100				Ｅ－０７	電気設備　４階平面図	1/100	Ｍ－０７	衛生設備　３階平面図（撤去）	1/100
Ａ－０８	仮設計画図(4)	1/50				Ｅ－０８	電気設備　ＰＨ１～４階平面図	1/100	Ｍ－０８	衛生設備　４階平面図（撤去）	1/100
Ａ－０９	仮設計画図(5)	1/50							Ｍ－０９	衛生設備　各階平面詳細図（撤去）	1/50
Ａ－１０	1階平面図	1/100							Ｍ－１０	空調設備　機器表１（撤去）	—
Ａ－１１	2階平面図	1/100							Ｍ－１１	空調設備　機器表２（撤去）	—
Ａ－１２	3階平面図	1/100							Ｍ－１２	排煙設備　機器表（撤去）	—
Ａ－１３	4階平面図	1/100							Ｍ－１３	空調・排煙設備　１階平面図（撤去）	1/100
Ａ－１４	PH階平面図	1/100							Ｍ－１４	空調・排煙設備　２階平面図（撤去）	1/100
Ａ－１５	断面図	1/100							Ｍ－１５	空調・排煙設備　３階平面図（撤去）	1/100
Ａ－１６	立面図１	1/100							Ｍ－１６	空調・排煙設備　４階平面図（撤去）	1/100
Ａ－１７	立面図２	1/100									
Ａ－１８	天井伏図	1/200									
Ａ－１９	建具表１	1/50									
Ａ－２０	建具表２	1/50									
Ａ－２１	建具表３	1/50									
Ａ－２２	建具表４	1/50									
Ａ－２３	外構図１	1/100.50.30									
Ａ－２４	外構図２	1/200.30.20.10									
Ａ－２５	外構図３	1/200.50.20									

記　事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘

□本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日　付	表紙・図面リスト	S=		Ａ－０１
					R5.3		S=		

工事名称	旧守口本署解体工事
工事場所	守口市京阪本通２丁目１５番８号
工事概要	棟　名 / 構　造 / 階　数 / 延べ面積 / 備　考 消防署 / ＲＣ 造 / 4階建 / 913.36 ㎡ / 一部Ｓ造
工事範囲	（１）解体撤去工事　（２）仮設工事　（３）整地工事
別途工事	
地域地区等	・市街化区域　・市街化調整区域 用途地域：・（第１種中高層）住居専用地域　・（　　）住居地域　・近隣商業地域　⊙商業地域 ・準工業地域　・工業地域　・工業専用地域　・指定なし 防火地域：⊙防火地域　・準防火地域　・指定なし　・第22条指定区域内 そ の 他：・宅造　・砂防　・風致　・都市公園　・河川保全　・土地区画整理　・（　）種高度地区
設計図書	図面 30 葉（本特記仕様書を含む）、補足説明書、図面・補足説明書に対する質問回答書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　建築物解体工事共通仕様書 最新版（以下「解体共仕」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「標仕」という。） アスベスト処理工事については国土交通大臣官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　最新版（以下「改修標仕」という。）による。

第１章　一般共通事項

項　目	記　載　欄
※ 本特記仕様書の取扱い	項目、記載欄については、〇印又は※印を付けたものを適用する。〇印のない場合は※印のついた項目、記事を適用する。
※ 設計図書の優先順位	（１）図面・補足説明書に対する質問回答書　（２）補足説明書　（３）特記仕様書　（４）図面　（５）解体共仕・改修標仕　（６）標仕
※ 指定材料	材料の商品名、製造所、施工業者は、特記されたものによるほか、監督職員が同等以上と認めたものを使用する。
※ 工法の記載のない材料	設計図書に工法が記載されていない材料は、製造所、施工業者等の標準仕様により施工すること。
※ 用語の定義	「監督職員」とは、工事請負契約書に規定する監督員をいう。
※ 疑義に対する協議	設計図書に明示のない場合又は疑義を生じた場合は、監督職員と協議する。
※ 軽微な変更	現場の納まり、取合い等の関係による軽微な変更は、監督職員の指示による。なお、この場合における請負金額は、増額しない。
※ 防火材料	法定防火材料及び法定耐火材料、耐火構造、その他法の定めのあるものは、その認定ラベル、認定番号等を示し監督職員の承諾を受けること。
※ 再生材料の品質等	再生クラッシャランの品質及び粒度範囲は、プラント再生舗装技術指針の表2.1及び4.1による。 再生加熱アスファルト混合物のマーシャル安定度試験の基準値及び粒度範囲は、プラント再生舗装技術指針の表4.5及び表4.6による。 再生材料の適用についてやむを得ない事情がある場合は、監督職員の承諾のうえ、新材とすることができる。
※ 工事に伴う諸手続き	給排水、電気、その他の工事設備の設置、撤去の手続き及び道路交通法、災害及び公害防止諸法その他工事に伴う諸手続きは、受注者が行うこと。
※ 施工調査	着工に先立ち、施工計画作成のための調査を行なう。
※ 実施工程表	工事着手に先立ち、実施工程表を作成し監督職員の承諾を受けること。
※ 施工計画書	工事着手に先立ち、施工管理体制、事故防止及び環境保全に十分配慮した解体工法並びに建設廃棄物処理等について、施工の具体的な計画を定めた施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。
※ 既存部分との取合い	既設建物と今回工事との取合い部分その他で、はつり及び工事の都合などにより破損、損傷させた箇所は、今回仕上げ及び旧仕上同材によって完全に補修しなければならない。取合い部分以外でも今回工事による損傷と認められた場合も同様とする。
※ 境界杭の確認	隣地及び道路との境界は、工事着手と同時にこれを確認し、境界杭の埋没、倒壊、滅失のおそれのある箇所は、養生及び保存を行う。 なお、位置不明の場合は監督職員、隣地所有者及び関係官公署職員立会いのもとに定める。
※ 材料検査に伴う試験	試験の基準は、日本工業規格（JIS）、基本標準規格（JES）、日本農林規格（JAS）、日本建築学会建築工事標準仕様書（JASS）とし、これらの規格に規定のないものについては、本仕様書の該当各項目又は監督職員の指示による。
※ 施工	施工は、設計図書、施工計画書及び監督職員の承諾を受けた実施工程表に従って行なうこと。
※ 施工中の安全確保	工事現場の安全衛生に関する管理は、現場代理人が責任者となり労働基準法、労働安全衛生規則その他関係法令に従ってこれを行う。 また、作業現場においては、常に整理整頓を行い、特に危険箇所の点検を行うなど事故の防止に努めること。
※ 施工中の環境保全	工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、関係法令に従い適切に処置するとともに、特に下記の事項を守らなければならない。 第３者に災害を及ぼしてはならない。 公害の防止に努めること。 善良な管理者の注意をもってしても、なお、災害又は公害の発生の恐れがある場合の処置については、監督職員と協議すること。
※ 関係法令等の遵守	工事の施工に当たり、適用を受ける関係法令等を遵守し、工事の円滑な進行を図ること。
※ 官公署その他への届出手続き等	工事の着手、施工、完成に当たり、関係官公署その他の関係機関へ必要な届出手続き等を遅滞無く行なうこと。
※ 引渡し及び管理責任	完成検査に合格したときは、書類を添えて引渡すものとする。なお、工事完了後引渡しまでの管理責任は受注者とする。又、引渡し時の状況により引続き維持管理を求めることがある。
※ 別途工事に対する協力義務	本工事受注者は別契約受注者に対して、仮設建物用地の確保、工事進入路、足場等の使用について協力すること。
※ 建設副産物の処理	建設副産物の処理は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関す法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定家庭用機器再商品化法、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等を遵守して行うこと。処理方法については、補足説明書等による。又、監督職員が指示する場合は処理地への搬入日時、処理時の写真等を報告書にまとめて提出すること。
※ 分別解体等	建設物等に用いられた建設資材に係る建設資材廃棄物は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律を遵守し、その種類ごとに分別しつつ当該工事を計画的に施工すること。
※ 再資源化を図る建設副産物	再資源化を図る建設副産物は、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊、建設発生木材、（　　）とする。 再資源化を図る建設副産物の処理地は、再資源化を行っている中間処理施設とする。ただし、受入側の事情等やむを得ない事情により、処理地を変更する場合は監督職員の承諾を得なければならない。
⊙ 特別管理産業廃棄物	・無　⊙有（・飛散性アスベスト廃棄物　⊙非飛散性アスベスト廃棄物　・ＰＣＢ　・廃油　・　　）
※ アスベスト処理	石綿障害予防規則の規定に基づき『特定科学物質等作業主任者技能講習会』を修了した者のうちから石綿作業主任者を選定のうえ、職務を遂行させること。「大気汚染防止法」、「大阪府アスベストによる健康被害の防止に関する条例」等に基づき適切に処理を行うこと。アスベスト含有材料の使用部位については図示による。

※	有価発生材の処置	有価発生材は特記なき限り、撤去工事費から有価発生材の見積価格を控除する方法によって受注者が引取ること。
※	建設機械	低騒音型または排出ガス対策型の機械を使用すること。
※	技能士	※適用しない　⊙適用する（適用工事種別：本工事の対象となる職種について、従事するよう努めること。）
※	火災保険等	・要（建設工事保険）　・要（火災保険）　※不要
※	完成時の提出図書	完成図：※要（設計図一式）　CAD・PDFデータ：CD―ROM　１枚 ・不要
※	工事の記録	監督職員の指示した事項及び監督職員と協議した結果について、記録を整備する。 工事着手前の現況部分、施工後見え隠れ等になる部分及び監督職員の指示する重要な工事過程並びに完成時の、施工の記録、工事写真、見本等を整備する。 なお、工事写真は、下表によるほか監督職員の指示による。

撮影工程	撮影箇所	箇　所	印画の大きさ	部数	備　考
全工区工事着手前	4方向から	4	サービスサイズ	1	カラー
工事中	施工の状況部分詳細	指　示	サービスサイズ	1	カラー
完成時	外　観	2	キャビネ版以上	1	カラー（原則としてCD-ROM提出）

第２章　仮設工事

※	ベンチマーク	監督職員の指示によって移動の恐れのない箇所を選定し表示する。適当な箇所のない場合には、新たに木杭等を用いて十分堅固に設置し、その周囲に養生を行う。
※	仮囲い	・シート張　⊙フェンスバリケードH=1.8m（・シート張）　・波形カラー鉄板仮囲い ⊙カラー鋼板囲い（・H=2.4m　※H=3.0m　（・設置済　・一部移設）） ※　3　灯（※設置　・一部移設　・　　）
※	仮設外灯	仮囲いを撤去する場合、工事完了時まで仮設外灯の代替措置を講ずること。 維持管理（電気料金含む）：※要（　　）　・不要
※	仮設看板	※　1　か所（※設置　・一部移設　・　　）
		維持管理：※要（　　）　・不要
⊙	外部足場に設置する	・養生シート　・養生金網　・防音シート　⊙防音パネル　・防護棚
	災害防止シート等	・その他（　　）
※	外部足場	工事で設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省　平成21年4月）により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。
※	2.3.1（a）（b）	監督職員事務所の設置
	監督職員事務所	・要（　　）⊙不要 規模：（・10㎡程度　・20㎡程度　・35㎡程度）　工事完了時（・撤去　・存置） 監督職員事務所の仕上げは、下表を標準とする。

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内壁、天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り
屋　根	塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り調合ペイント塗り

監督職員事務所の備品
・要（　工事　工区の負担とする。なお、備品内容は下記を標準とするほか、監督職員の指示による。）　・不要（設置済）
備品内容（※印は20㎡以上の監督職員事務所に適用）
流し台、ガスコンロ※、湯沸し器、冷蔵庫、机、椅子、書棚、ホワイトボード、寒暖計、会議机、折たたみ椅子、衣類ロッカー、消火器、掃除用具、電話及びファクシミリ、複写機、パソコン（プロバイダー契約を含む。）※、カラープリンター※、デジタルカメラ、文具一式、ゴム長靴、雨かっぱ、保護帽、懐中電灯、安全帯、冷暖房機、タイムレコーダー
維持管理（光熱水費、電話使用料、消耗品などを含む）：・要（　工事　工区の負担とする）　・不要
事務員（　人）：・要（　工事　工区の負担とする）　・不要（設置済）

※	交通誘導員	警備業法第２条第４項に規定する警備員で交通誘導業務に従事するもの。 ⊙要（常駐　１　人　　）（スポット(夜間)　３０　人　）　・不要　・（　　）
※	高圧洗浄機	※洗車用⊙要（※１台　　・　台）（受注者の負担とする。　）　・不要 ※散水用⊙要（※大割圧砕機１台につき２台・小割圧砕機１台につき１台）（　受注者の負担とする。　）　・不要 維持管理：（　受注者　）の負担とする。
※	工事用設備等	水道、電気使用料：（　受注者　）の負担とする。 給排水、電気、その他工事用設備の設置、撤去は受注者が行うこと。 なお、仮設水道については（ 50 φ）を（⊙引き込み済　・受注者の負担で引き込むこと。　） 親メーターの設置、撤去は、受注者の負担で設置すること。

第３章　解体施工

※	一般事項	※建築物の解体工事における事故の影響、責任、解体工事に係る技術の必要性等を十分認識し、関係法令を遵守するとともに、適切な施工計画の作成、工事の実施を行うこと。 ※技術者等の選定にあたっては、解体工事の知識、経験の十分な者を選任する等、施工体制の整備を図ること。 ※解体工事の実施に先立ち、提示された設計図書等を十分把握するとともに、工事現場の立地条件や本工事範囲外の敷地内建物、構造物、近隣民家等の周辺状況はもとより、解体建物の実状が設計図書等と異なる場合を想定し、各構造部分等の十分な目視確認などの調査を行い、工事現場及び解体建物の状況を十分熟知したうえ、第三者及び作業員への事故防止、粉塵、振動、騒音の防止等、周辺の環境保全に十分配慮した解体工法の選択、環境保全対策、施工計画を作成し工事を実施すること。 解体工事用重機及び仮設材の搬入及び搬出時も同様とする。 ※供給設備の撤去に当たっては、事前に調査を行い、必要な手続きが完了した後、工事を実施すること。

記事	

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１　ＴＥＬ　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４　ＴＥＬ　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日　付	解体工事特記仕様書１	S=		Ａ－０２
					R5.3		S=		

※	一般事項	※解体撤去工事で機械を使用する場合は、低振動、低騒音工法とする。（ハイブリット解体工法同等以上のものを採用すること。） 特にコンクリート等の解体撤去に当たっては油圧式の圧砕機を使用し、安全で能率的な　作業方法により順次解体すること。 なお、圧砕機使用不可能な箇所については監督職員と打合わせの上適切な器具を使用すること。 ※防音パネル及び控えパイプ等は原則として建物の柱、梁等に堅固に緊結し、強風時の倒壊防止をはかること。 ※工事現場内には高圧散水機を設置し、常に防塵に努める事。また、敷地周辺に粉塵の飛散なきよう撤去方法を考慮し、散水を行いながら、施工すること。 ※工事範囲内の配管等の切断、撤去は本工事とする。なお、撤去範囲については事前に監督職員と協議のうえ施工すること。この場合隣接地に迷惑・被害を及ぼさないよう施工するとともに既設配管等と取り合いがある場合は、完全に補修すること。 ※撤去しない排水管等は十分清掃補修し、排水機能を確保すること。 ※基礎部分等は特記なきかぎり、栗石を除いて完全に掘り起こし撤去する。また、図面上の地盤面以下の建物等、形状は参考図として取扱うこと。 ※解体材の焼却等一切の火気使用を禁ずる。 ※解体工事において、内装材、構造材等の撤去中に、想定外の構造形式により建築されていることが判明したり、鉄骨の腐食、溶接不良等、施工計画において想定しなかった状況が判明した場合は、工事を一時中断し直ちに監督職員に通知すること。 この際早急に必要な調査等を行い、それを踏まえた工法の変更や安全措置の追加等、施工計画の修正の検討を行うこと。 施工計画の修正の検討にあたっては、その内容、工期等について、監督職員と十分協議すること。 ※建築物外周の張り出し部、外壁等が外側に倒壊、落下すれば、重大な公衆災害を引き起こす可能性が高いことを十分認識し、工事の各段階において構造的な安全を保つよう、適切な工法、手順を採用する等必要な対策を講ずること。張り出し部分は、原則としてそれを支持する構造体が安定している段階で撤去するか、構造体の重心が外側にかからないように適切に支持する等の配慮をすること。 ※鉄骨造、鉄筋コンクリート造、プレキャストコンクリート造等の異なる構造の接合部、増改築部分と従前部分の接合部等の解体にあたっては、十分な目視確認等による調査を行い、接合部の強度等に十分配慮して、施工計画の作成、工事の実施を行うこと。 ※受注者が産業廃棄物の収集運搬又は処分を処理業者に委託する際には、書面による委託契約を行ない写しを監督職員に提出すること。 ※廃棄物処理過程の全過程を確認するために、受注者は「マニフェストシステム」を採用し、監督職員に写しを提出の上、原本照合を受けること。
※	分別解体等の実施	※解体工事の施工に先立ち、分別解体等を適切に遂行するための具体的手段と方法等を明示した、施工計画書を作成し監督職員に提出すること。 ※建築物の解体撤去にあたっては分別解体等を行う事とし、工程の順序、方法は次のとおりとする。ただし、建築物の構造上その他解体工事の施工技術上これによりがたい場合は、監督職員の指示による。

工　　程	方　　法	備　　考
（１）建築設備・内装材等	※手作業　・手作業、機械作業の併用	
（２）屋根ふき材	※手作業　・手作業、機械作業の併用	
（３）外装材、上部構造部分	※手作業　・手作業、機械作業の併用	
（４）基礎等	・手作業　※手作業、機械作業の併用	

その他建築物以外の工作物についても、上記によるものとする。

※	埋設物等の処理	※設備配管等の撤去に当たっては、事前に十分な調査を行い、手続き完了後、安全に施工すること。 ※本工事の撤去に伴い図示されていない埋設物が出た場合、機械の能力範囲で撤去できるものは速やかに、掘り起こし完全に撤去処分すること。 ただし、原則として工事費の増額は無いものとする。なお、撤去前に監督職員に連絡し、指示を受けること。
※	害虫駆除	仮囲い等の設置完了時に、建物等に内外に薬剤を散布して、ゴキブリ等の害虫の駆除及び移動防止を図る。 対象とする害虫は、クロゴキブリ、チャバネゴキブリ等とする。使用する薬剤は、フェニトロチオン乳剤及び粉剤（残効性２０～５０日）とする。 乳剤は、建物等の内外に散布し使用量は平均１２０ｃｃ/㎡ とする。粉剤は、仮囲い等の内側に帯状に散布し使用量は平均１５０ｇ/㎡ とする。 駆除方法は次による。 （１）薬剤使用によるペット類の事故等周辺住民に迷惑がかからないよう駆除前に注意書を掲示する。 （２）雨天時、強風時等は駆除作業を行わない。 （３）駆除作業の完了後は、終日養生に努める。 （４）駆除作業を行う者は、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく登録業者とする。 （５）駆除作業の完了後、速やかに上記業者から衛生害虫防除作業実施記録表を提出させる。
※	その他	※建物内に共用物の物品等があるときは、監督職員の指示により受注者の負担で保管・移動または処分すること。 ※便槽等は、処理業者により汚物を除去した後、掘り起こし完全に撤去すること。なお、汚物の除去及び処分に要する費用は受注者の負担とする。 ※樹木は、種類、幹の大きさ、高さ、枝張り等の確認をすること。樹木の撤去は、特記なき限り根株を含めて堀り起こし、場外処分とする。 存置する樹木を枝払いする場合は、最小限に止めること。 ・鉄骨解体時には、「建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者技能講習」を受講した者を常駐させることとし、事前に「建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者技能講習修了証」を監督職員に提出すること。

第４章　建設廃棄物の処理

※	関係法令に遵守	建設廃棄物の処理に際しては、循環型社会形成推進法、産業廃棄物処理法、資源有効利用促進法、建設リサイクル法等の関係法令や関係条例等を遵守して適切に処理を行うこと。
※	建設廃棄物の処理計画	建設廃棄物の処理に先立ち、種類別に具体的な処理計画を定め、施工計画書に記載すること。
※	再資源化完了報告書等	特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した時は、建設リサイクル法による再資源化等完了報告書又は監督職員が指示する様式による再資源化利用促進計画書（実施書）を監督職員に提出すること。

第５章　特別管理産業廃棄物等の処理等

※	関係法令に遵守	特定管理産業廃棄物等の処理等に際しては、関係法令や関係条例等を遵守し適切に処理を行なうこと。
※	特定管理産業廃棄物等の処理及び回収計画	特定管理産業廃棄物等の処理に先立ち、種類別に具体的な処理計画、回収計画を定め、施工計画書に記載すること。
・	P.C.B含有シーリングの撤去	「ポリ塩化ビフェニル含有ポリサルファイド系シーリング材撤去工事仕様書（案）・撤去マニュアル（案）」に基づき施工すること。該当するのは、以下の部分とする。 ・サッシ取付部分　・ガラス留め付け部分　・外壁コンクリート打継ぎ部分　・屋内水廻り 密封容器（ポリエチレン製ケース等（D400×W640×H300）に入れて、指定場所に搬送保管する。

第６章　アスベスト含有建材の除去・処理

⊙	関係法令の遵守	アスベスト成形板処理工事の施工に際しては、工事の特殊性を十分認識し、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設工事に係る資材の再資源化に関する法律、大阪府生活環境の保全等に関する条例、大阪府アスベスト対策基本方針の保全等に関する条例、大阪府アスベスト対策基本方針（１７．４）、大阪府建築物等アスベスト対策暫定指針（１７．４）、非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針（１７．３）、大阪府アスベスト廃棄物処理暫定指針、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築改修工事標準仕様書（最新版）等の関係法令や条例等を遵守し適切に施工を行うこと。
⊙	アスベスト成形板の処理	製品名、厚さ、使用部位、使用面積は図示による。
⊙	施工調査	受注者は着工に先立ち、アスベスト含有成形板の使用部位等の確認及び記録を行ない、監督職員に提出すること。
⊙	施工計画	受注者は着工に先立ち、除去工事に伴うアスベスト粉塵の飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承諾を受けること。

⊙	アスベスト作業主任者の選任及び職務	受注者は、石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定科学物質等作業主任者技能講習を修了した者のうちから石綿作業主任者を選任すること。 石綿作業主任者は作業方法を決定し、作業を指揮すること。また、保護具の使用状況を監視すること。
⊙	官公署その他への手続き	解体等の作業に係る石綿含有成形板の使用面積が１０００㎡ 以上の作業を伴う建設工事を施工しようとする者は、作業の開始日の14日前までに、大阪府知事又は大気汚染防止法に基づく政令市長へ、石綿排出等作業実施届出書を提出すること。
⊙	特別教育の実施	受注者は除去作業に先立ち、除去作業を行なう作業員に「石綿障害予防規則」に基づく特別教育を実施すること。
⊙	飛散防止の対策等	※建物内部で除去作業を行なう場合は、除去場所を他の場所と隔離すること。なお、除去場所において、外部との空気の流通を避けるために、ガラスの破損箇所又は換気扇等をプラスチックシート等で塞ぐこと。 ※建物外周部で除去作業を行なう場合は、解体する建物の高さ以上にシート等で塞ぐこと。 ※除去作業者には、呼吸用保護具、保護メガネ及び作業着を着用させること。 ※関係者以外の者が作業区画に立ち入ること及び作業場における喫煙・飲食を禁止し、かつ、その旨を見やすい箇所に表示すること。 ※作業に従事する労働者が見やすい箇所に、次の事項を掲示すること。 ア　石綿等を取扱う作業場である旨 イ　石綿等の人体に及ぼす作用 ウ　石綿等の取扱い上の注意事項 エ　使用すべき保護具 ※受注者は除去工事に先立ち、環境省環境管理局長通知（平成17年8月9日付け環管大発第050809001号）による飛散防止対策等の実施内容及び大阪府生活環境の保全等に関する条例による事前調査結果を周辺住民から見やすい箇所に掲示すること。また、石綿の含有が疑わしい建材はアスベスト含有材として取り扱う旨を記載すること。
⊙	アスベスト粉じん濃度測定	関係法令に基づき適正に実施すること。 ⊙測定方法 アスベスト粉じん濃度の測定方法は、「JISK3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による 位相差顕微鏡法又は、位相差・分散顕微鏡法による。 ⊙測定機関 都道府県に登録されている作業環境測定機関又はこれと同等の技術を有するもの。 ⊙計数分析 作業環境測定士又はこれと同等の技術を有する者 ⊙報告書 ３部作成 非飛散性　　点　内訳　敷地周囲　処理作業前　　点　処理作業中　　点　処理作業後　　点
⊙	除去作業	※除去は、アスベストを含まない内装材及び外部建具等の撤去に先がけて行なうこと。 ※除去は、破壊又は破断を行なわない方法で行うものとし、原則として「手ばらし」とすること。なお、建物外部のアスベスト成形板を除去する場合は、できる限り原形のまま除去すること。 ※除去作業中は、原則として散水その他の方法により、アスベスト成形板を常に湿潤な状態として作業を行なうこと。 ※湿潤化させるために行う散水は、過度に行なわないこと。
⊙	集積・運搬等	※除去したアスベスト成形板の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことのほか、粉塵の飛散防止に努めること。 ※やむを得ず、最終処分場の受入れ基準に適合させるため必要最小限の破砕をする場合は、屋内において湿潤化等アスベストが飛散しないよう措置を講じた上で行なうこと。なお、当該破砕等に伴い排出される粉末状や小片の非飛散性アスベスト廃棄物については、湿潤化の上、丈夫なビニール袋に入れ運搬すること。 ※除去したアスベスト成形板を運搬するまでの間、現場内に保管する場合は、一定の保管場所を定め、一般の内装材と区別して保管するものとし、シートで覆う等、飛散防止の措置を講じること。また、保管場所には、アスベスト成形板の保管場所であることの表示を行うこと。 ※アスベスト成形板の運搬に当たっては、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努めること。 ※アスベスト成形板の撤去、運搬、積込み及び保管等の処理が完了した場合は、速やかに監督職員に報告し、確実に処理されたことの確認を受けること。
⊙	除去処分	※アスベスト成形板は、関係法令に従い適切に処分すること。 ※アスベスト成形板（比重が１．０以上など、受入れ先の基準に適合するもの。）は、破砕をせず原形のまま搬入すること。 ※除去されたアスベスト成形板の処分が完了した場合は、マニフェストを監督職員に提出し、処分が確実に行われたことの確認を受けること。 なお、マニフェストには、石綿含有産業廃棄物が含まれることを記載すること。
⊙	検査及び後片付け	除去作業完了後、アスベスト成形板の破片、破断粉及び作業衣等に付着した粉塵が残存しないよう、真空掃除機により、清掃及び片付けを十分に行うこと。
⊙	施工記録	施工記録報告書を作成し、監督職員に提出すること。

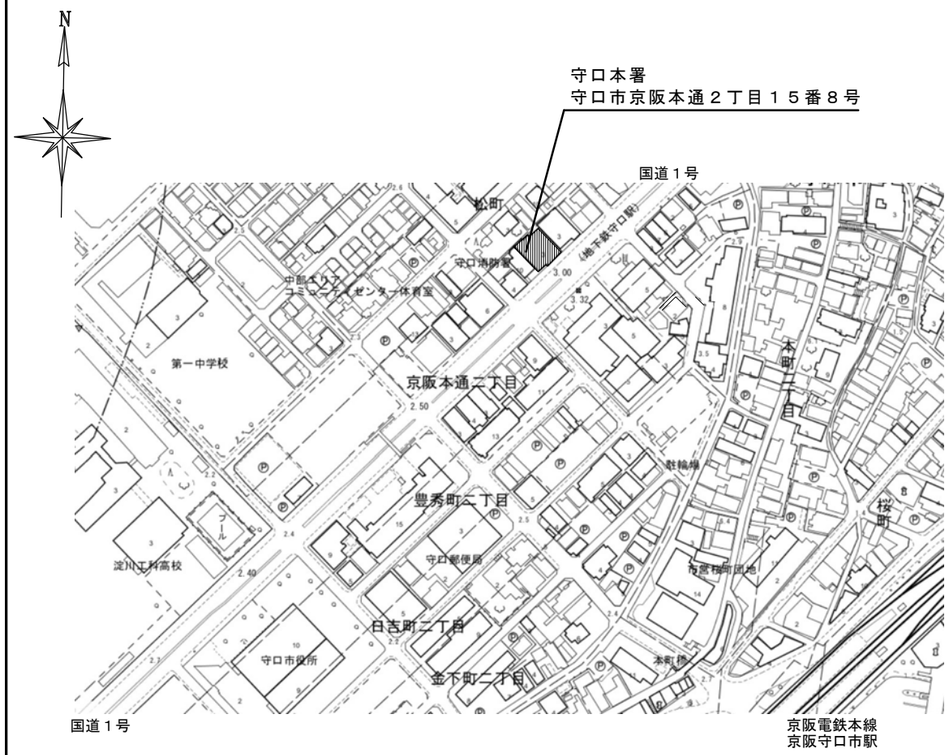
第７章　その他関連工事

※	排水	工事に支障を及ぼす雨水、湧き水、たまり水等は、適切な排水側溝、集水ます等を設け、ポンプ等により排水すること。
※	建設発生土の処理	※場内処分（※敷ならし　・　）　・場外処分
※	整地・埋戻し	※解体撤去跡は、施工範囲を整地し、後片付け、清掃を行うこと。 ※整地後は、１０ｍメッシュでレベル測量を行い、図面を作成し監督職員の確認を受けること。なお、周辺の道路高さ、宅地高さ等は、監督職員の指示により測定すること。 ※埋戻しは、ランマー等により締め固めつつ埋め戻しをすること。 ※ブルドーザーによる整地は、転圧後の通過軌跡が重なり合うように走行転圧を行う。なお、転圧はその土質、使用機械に応じて締め固めに適した含水状態で行う。 ※整地に必要な埋め戻し土（※場内発生土流用　⊙客土　）
・	山留め	・鋼矢板工法　・親杭横矢板工法（※H鋼　・　）　・その他（　）
・	汚水槽等の撤去	※撤去前に洗浄、消毒を要する物 ・汚水槽　・し尿浄化槽　・住戸の便槽
※	給水管の撤去	※図面及び仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編、最新版）」、「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編、最新版）」及び「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編、最新版）」による。 ※発生材の処理は「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）第１編1.3.6(5)」により場外処分とする。関係法令に従い　適切に処分し報告書を監督職員に提出すること。 ※給水本管（直圧部）の閉栓等については、各市水道事業　供給条例に基づく施工者で施工のこと。 ※給水本管の閉栓は、不断水工法とする。

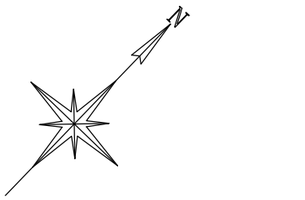
記事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１　TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４　TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日　付	解体工事特記仕様書２	S=		A－０３
					R5.3		S=		



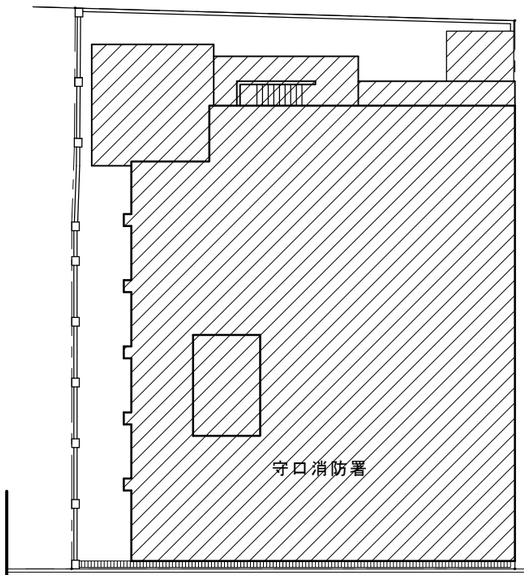
付近見取図

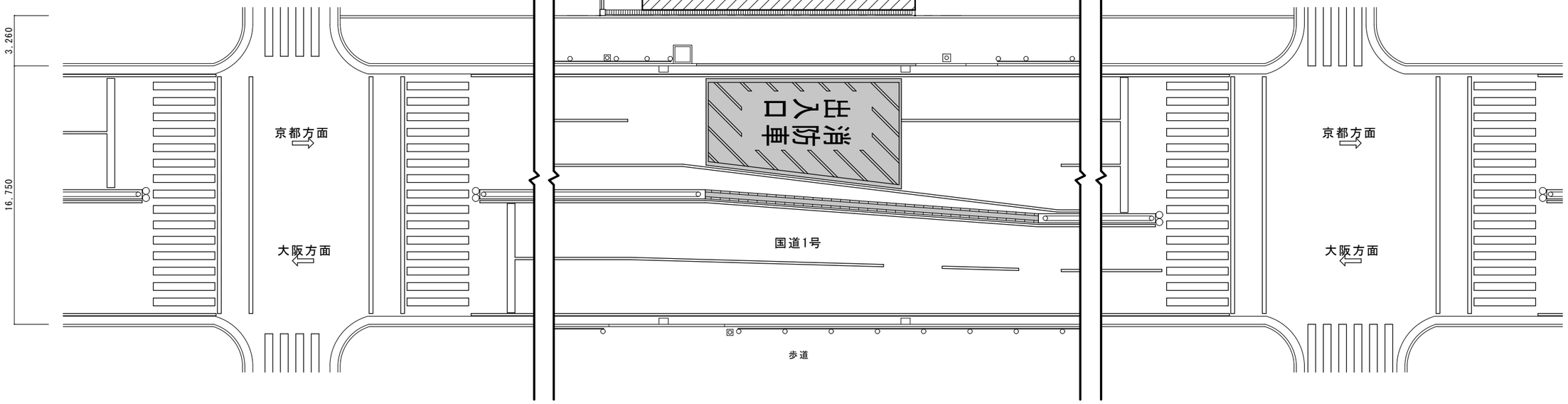


凡例

今回工事対象建物を示す

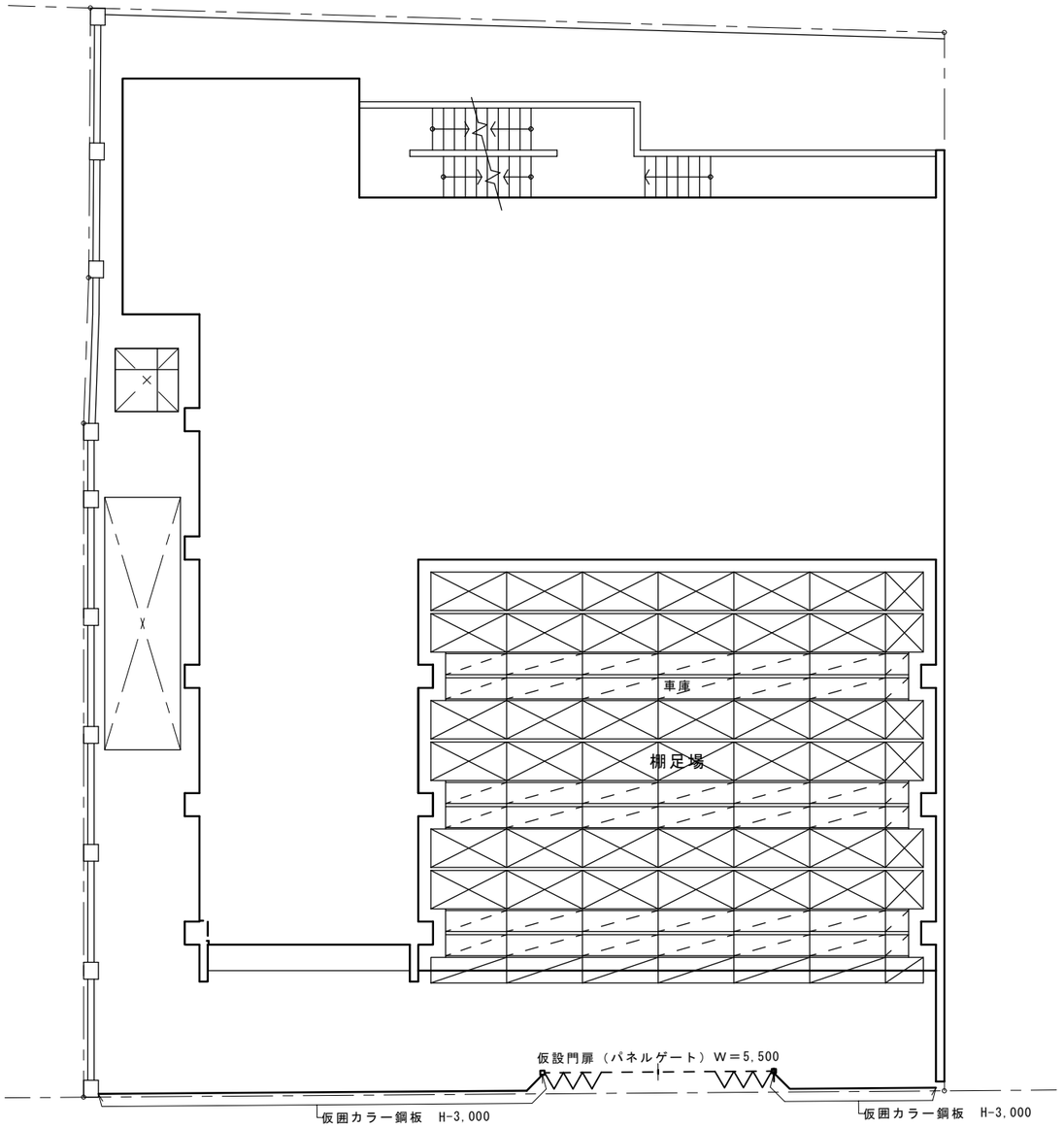
道路工事対象範囲を示す



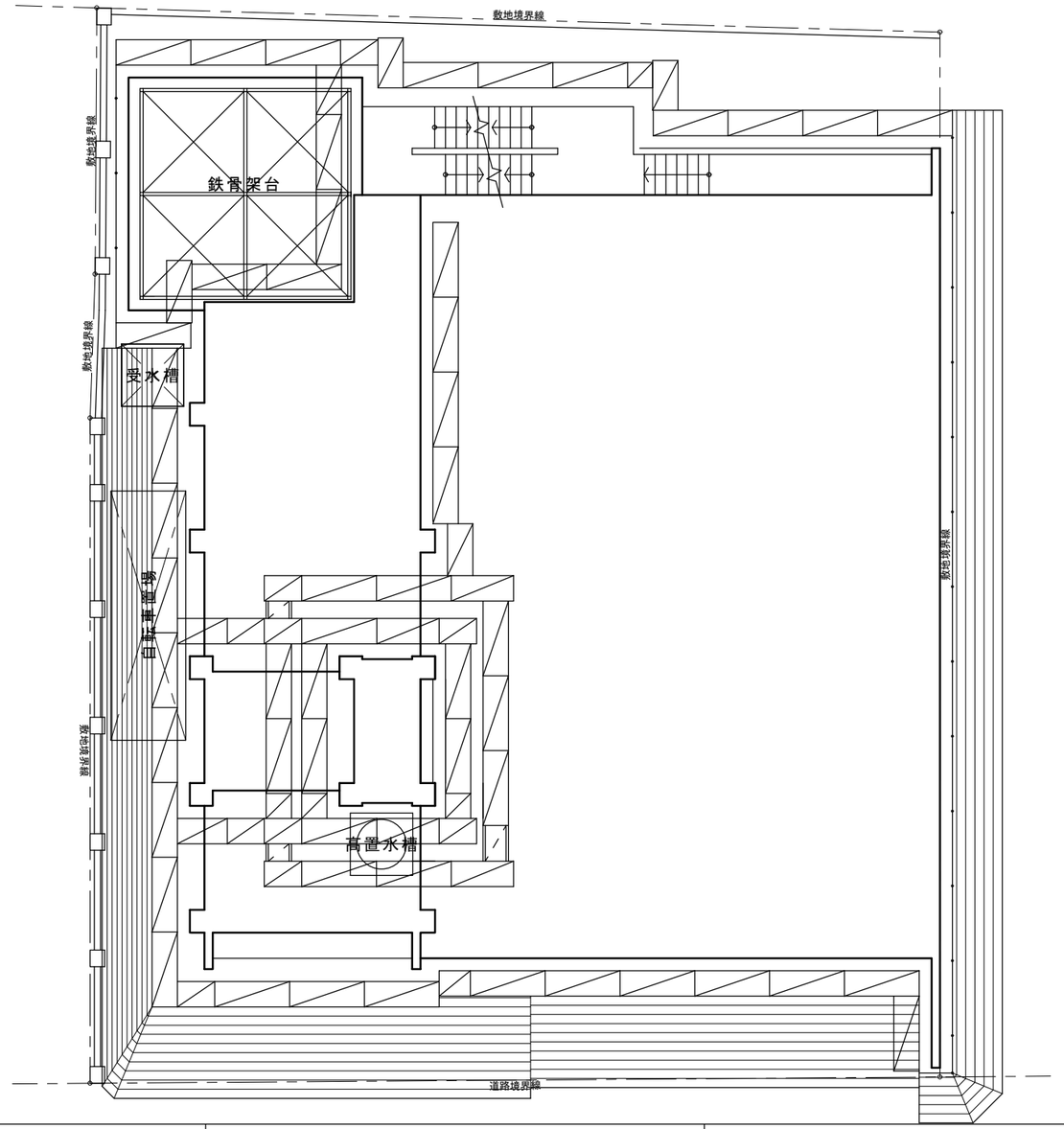


記事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第２２２７８号 一級建築士 登録 第１４６１３４号 藤原 義弘						日付	付近見取図兼配置図	S=1/200		A－０４
		本社 大阪市中央区今橋２－２－１１ TEL ０６－６２２３－５８５０ 兵庫支店 兵庫県小野市上本町２４０－４ TEL ０７９４－６２－４７５７						R5.3		S=		

内部足場平面図



外部足場平面図



特記事項

1．外部足場には全て防音パネルを敷設する。
2．安全面からブラケットによる作業床を適宜設置する。
3．受水槽等設備機器が足場組立に障害となるものは、先行して、撤去する。
4．第三者被害の無き様、十分に気を付け施工すること。
5．各関係法令に従い、関係監督省庁と協議の上、施工すること。

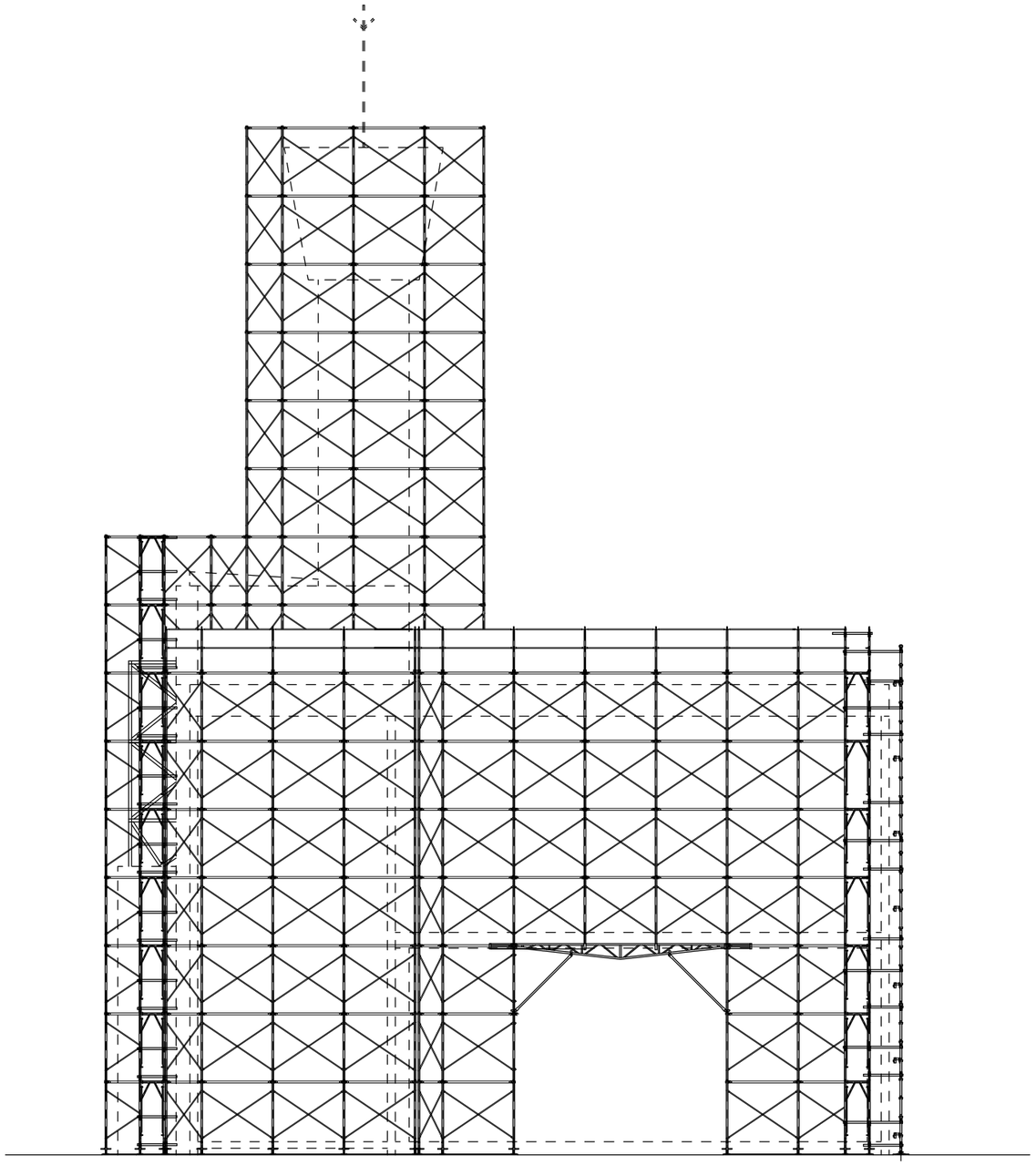
凡例

- ：枠組足場900
- ：枠組足場600
- ：鋼製単管足場
- ：鋼製単管抱き足場（くさび足場）
- ：防護柵（朝顔）鋼板　t=1.6

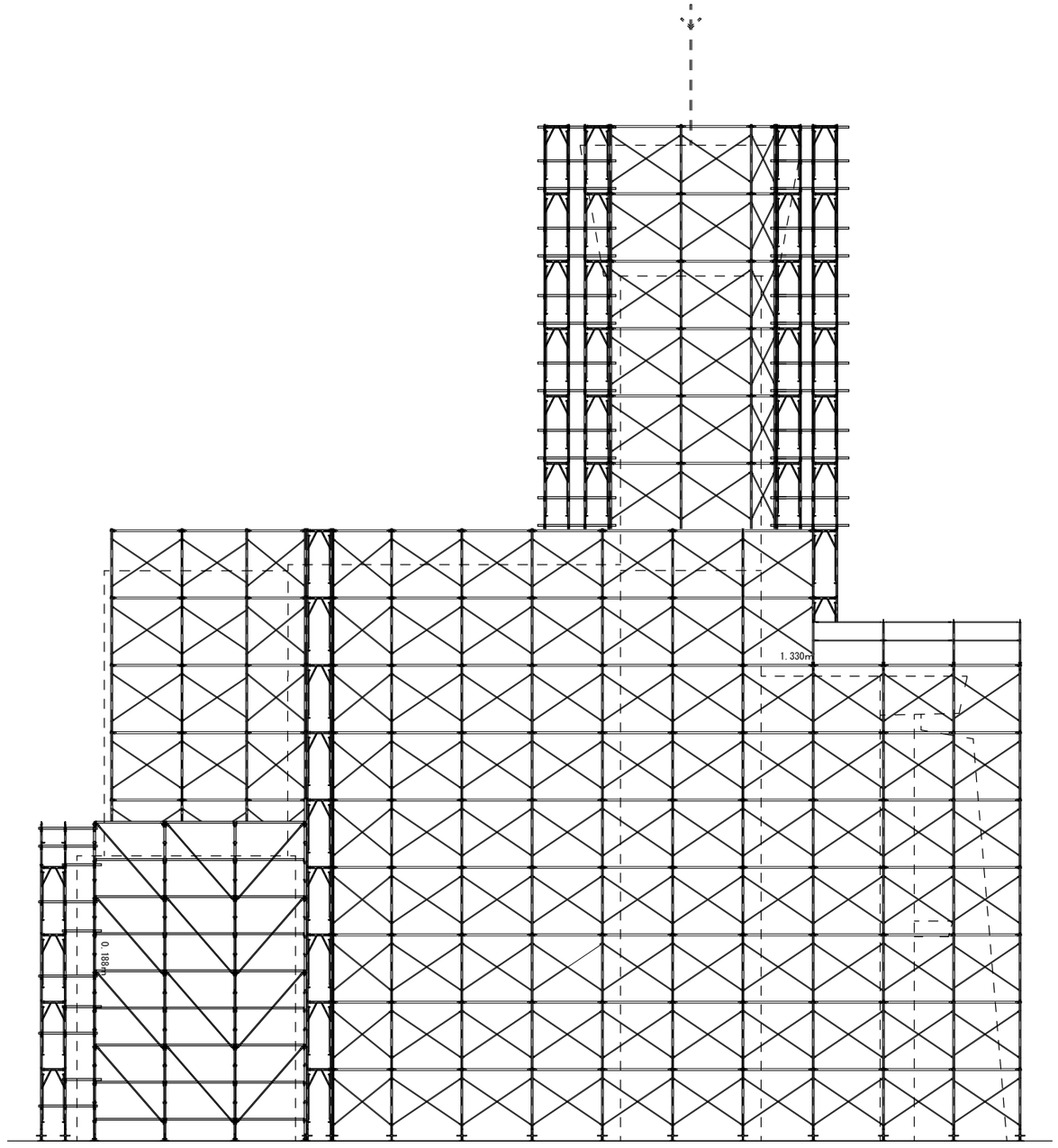
記事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１　TEL　06－6223－5850
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４　TEL　0794－62－4757

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日付	仮設計画図１	S=1/100		A－０５
					R5.3		S=		

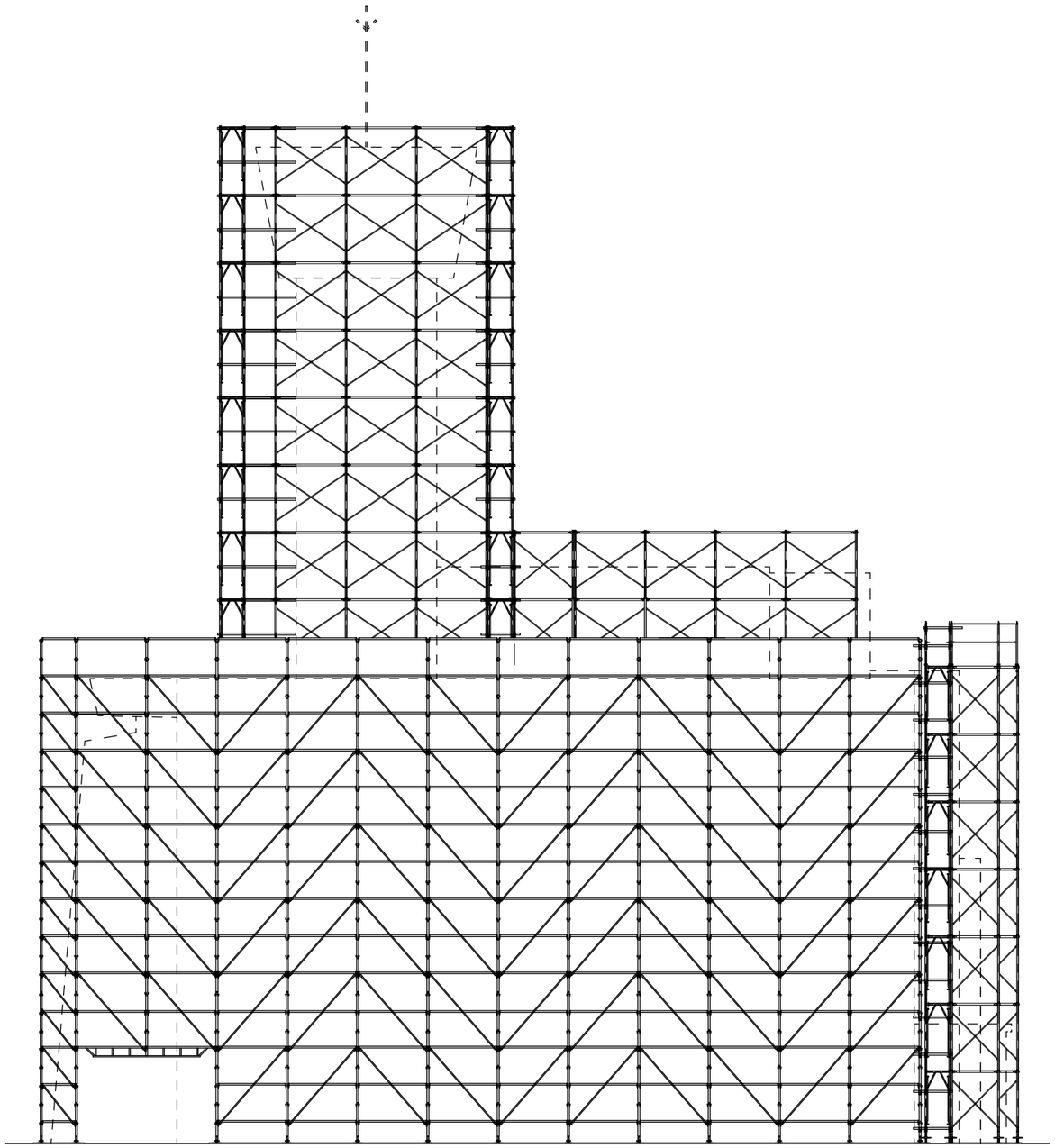


南側外部足場立面図

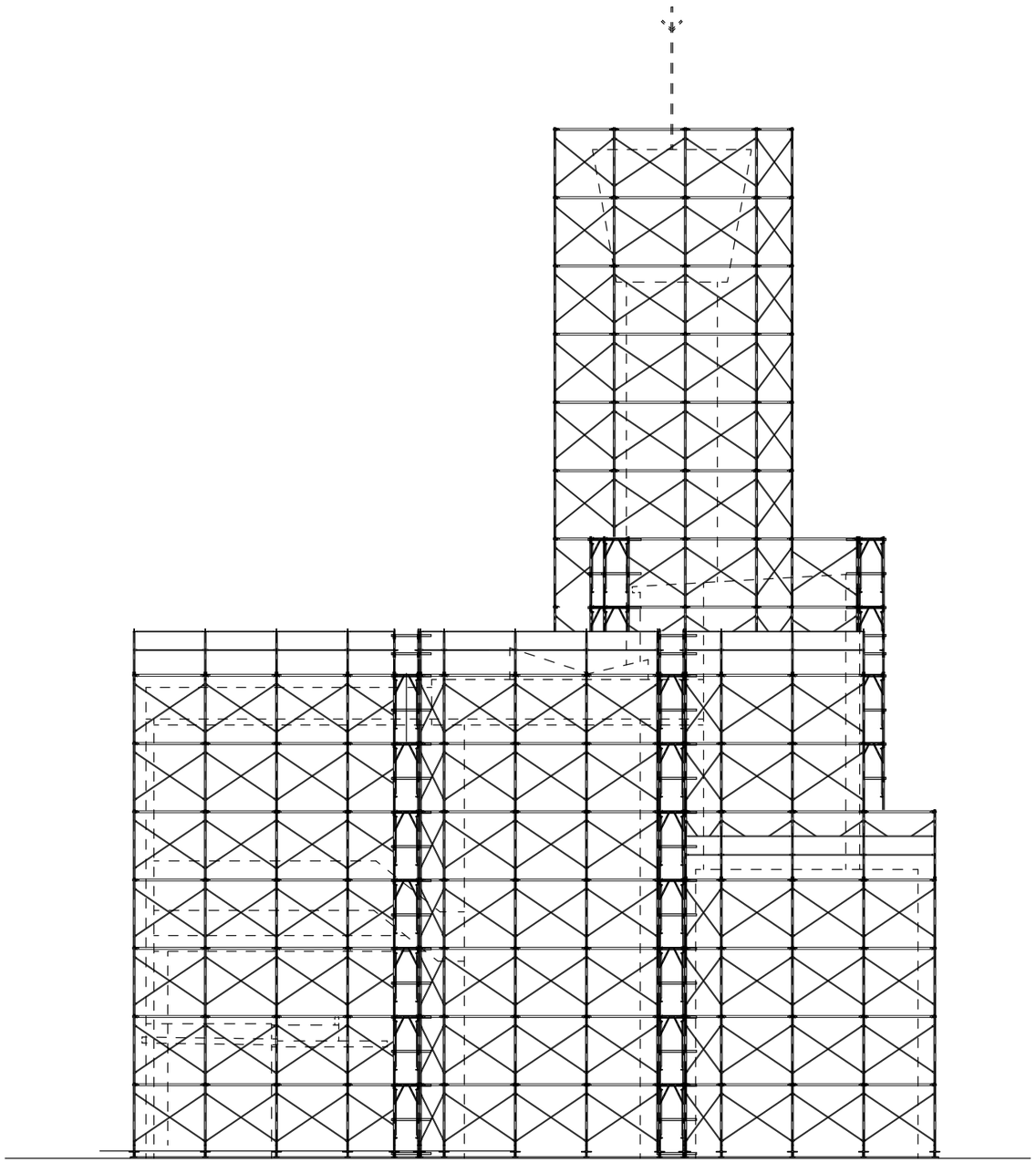


西側外部足場立面図

記事		株式会社内藤設計 一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号 一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘	本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１ TEL　０６－６２２３－５８５０ 兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４ TEL　０７９４－６２－４７５７	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
									日　付	仮設計画図２	S=1/100		A－０６
									R5.3		S=		



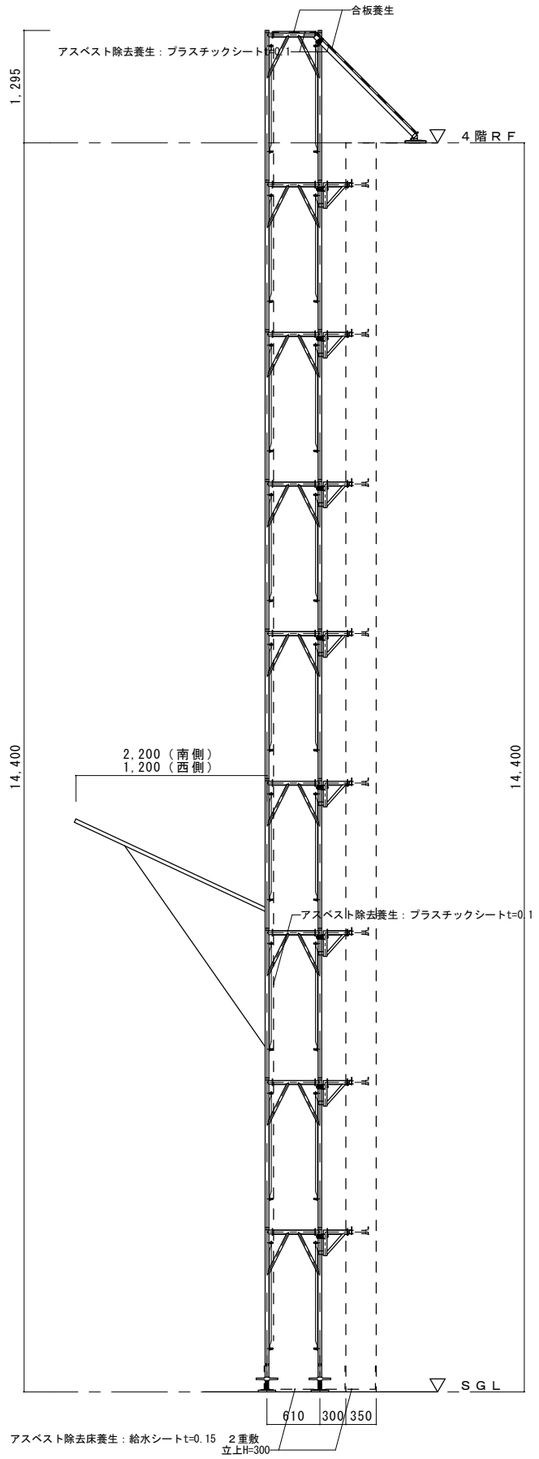
東側外部足場立面図



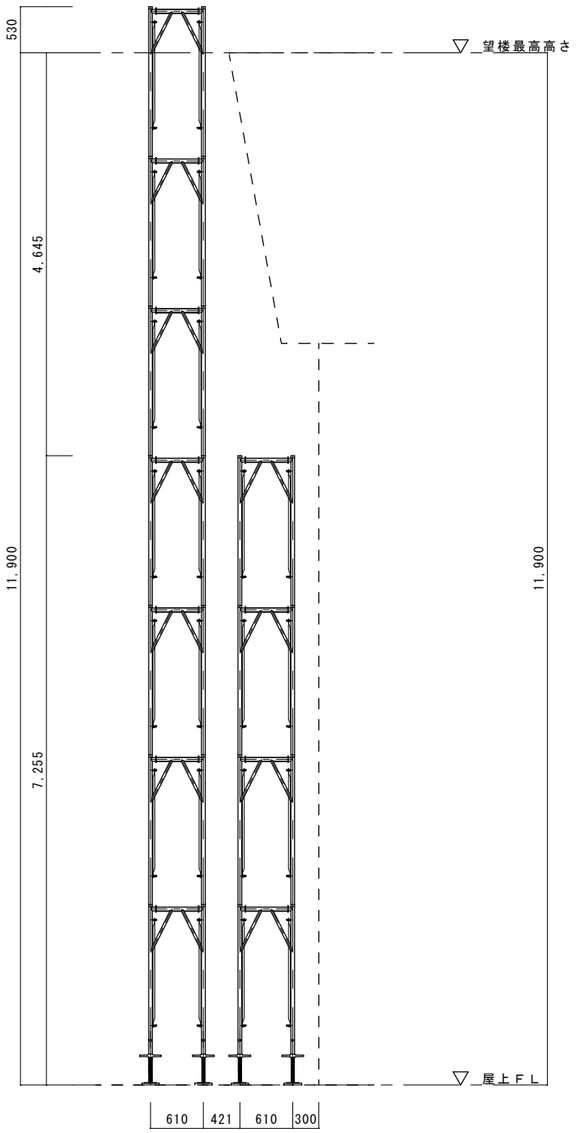
北側外部足場立面図

記事		株式会社内藤設計 一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第22278号 一級建築士 登録 第146134号 藤原 義弘	本社 大阪市中央区今橋2－2－11 TEL 06－6223－5850 兵庫支店 兵庫県小野市上本町240－4 TEL 0794－62－4757	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
									日付	仮設計画図3	S=1/100		A－07
									R5.3		S=		

南側・西側枠組足場断面図　S=1/50

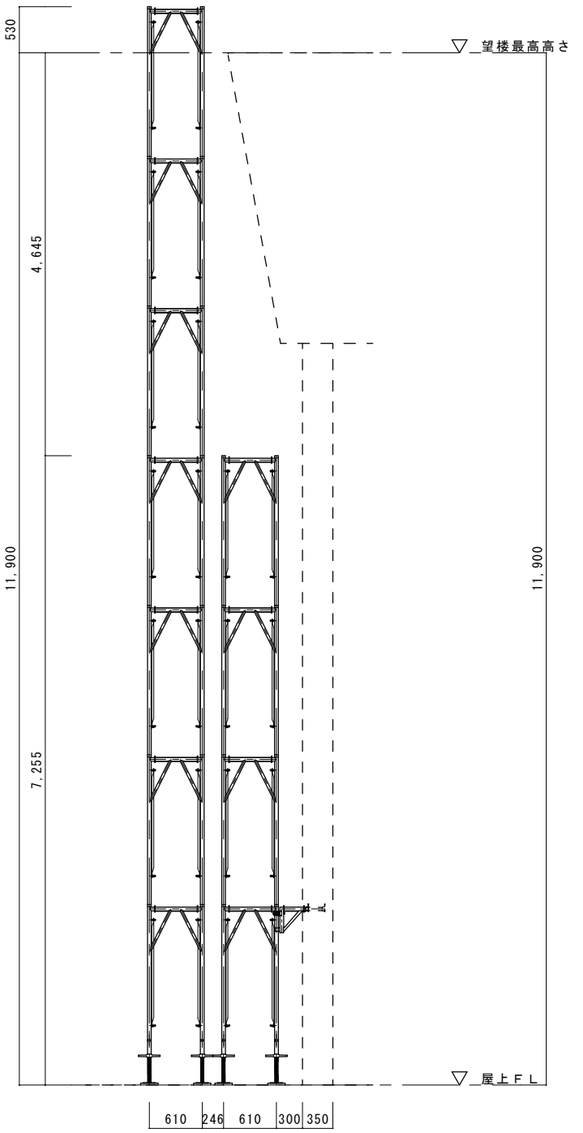


望楼南側・北側枠組足場断面図　S=1/50



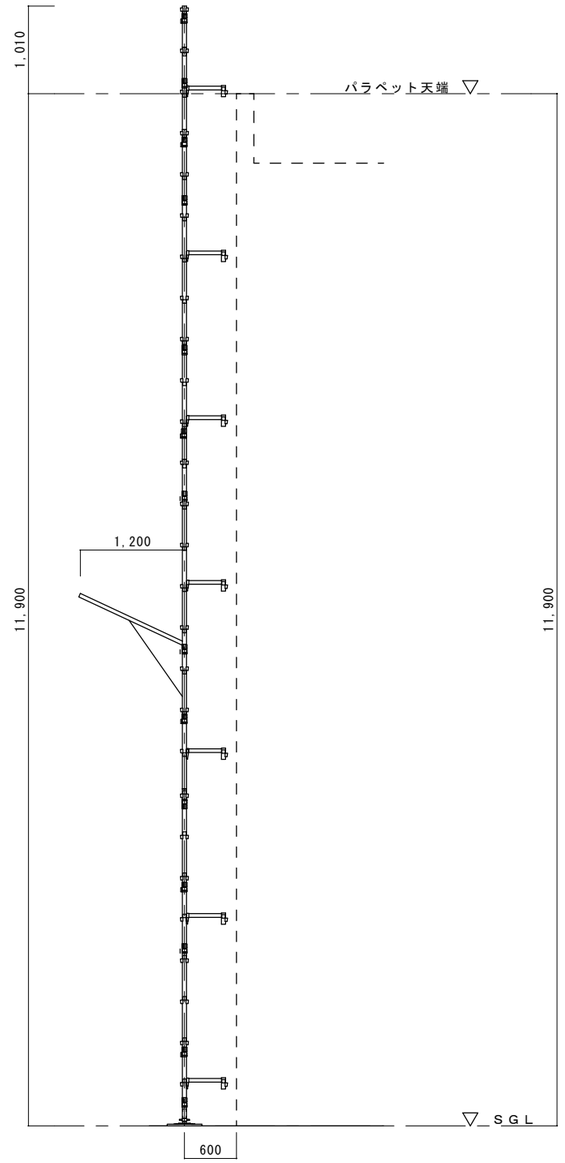
注)※アスベスト養生は、「南側・西側枠組足場断面図」と同様に行うこと。

望楼東側・西側枠組足場断面図　S=1/50



注)※アスベスト養生は、「南側・西側枠組足場断面図」と同様に行うこと。

東側鋼製単管抱き足場（くさび足場）断面図　S=1/50

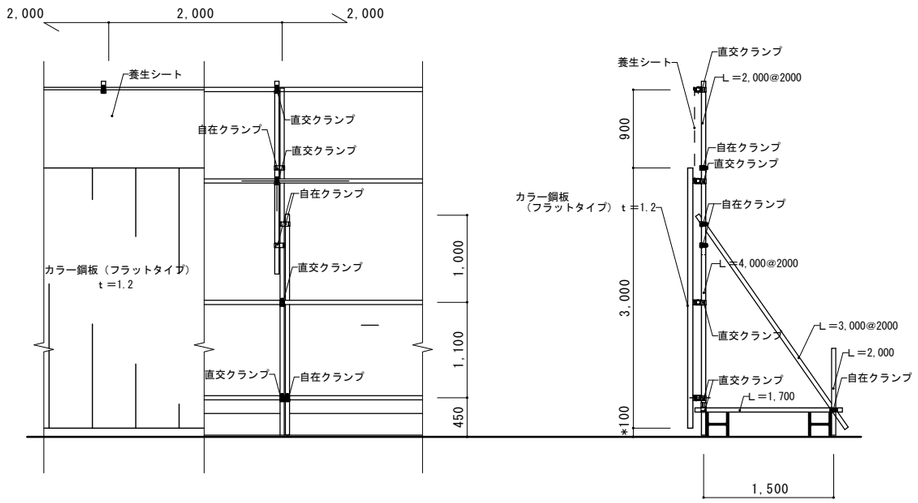


注)※アスベスト養生は、「南側・西側枠組足場断面図」と同様に行うこと。

記事		所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事　設計図	整理番号	図面番号
							日付 R5.3	仮設計画図４　S=1/50		A－０８
								S=		

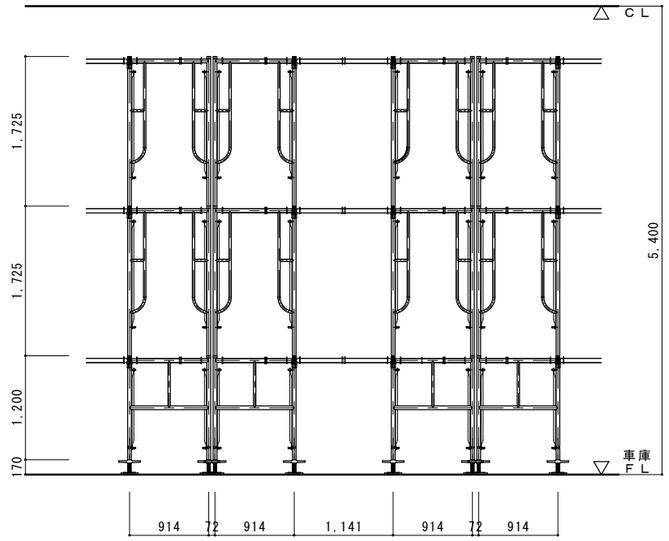
株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１　TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４　TEL　０７９４－６２－４７５７

仮囲カラー鋼板　H＝3,000　　S=1/50

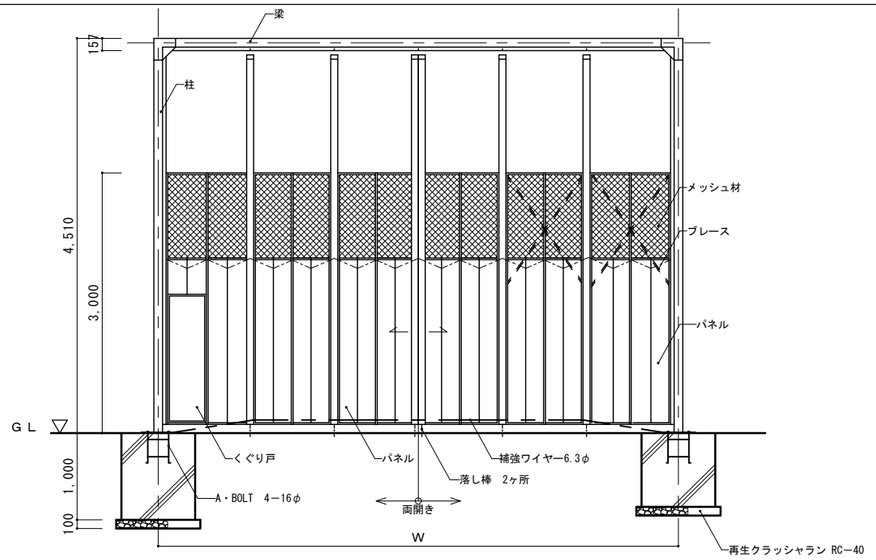


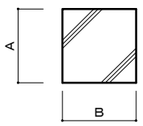
Ｈ型鋼２列据置式鋼板仮囲いとする。
鋼管支柱仮囲い　（仮囲鋼板ｔ1.2　溶融亜鉛メッキカラー塗装品）
支柱・胴縁等の単管パイプは全て外径48.6φ×ｔ2.4とする。
※安全上支障のある場合は100を0とする。
※構造計算等により充分な安全を確かめた上、施工すること。

棚足場断面図　　S=1/50



仮設門扉　　S=1/50





基礎コンクリート設計基準強度Fc=18N/mm^2、スランプ15cm
施錠金物及び南京錠付。

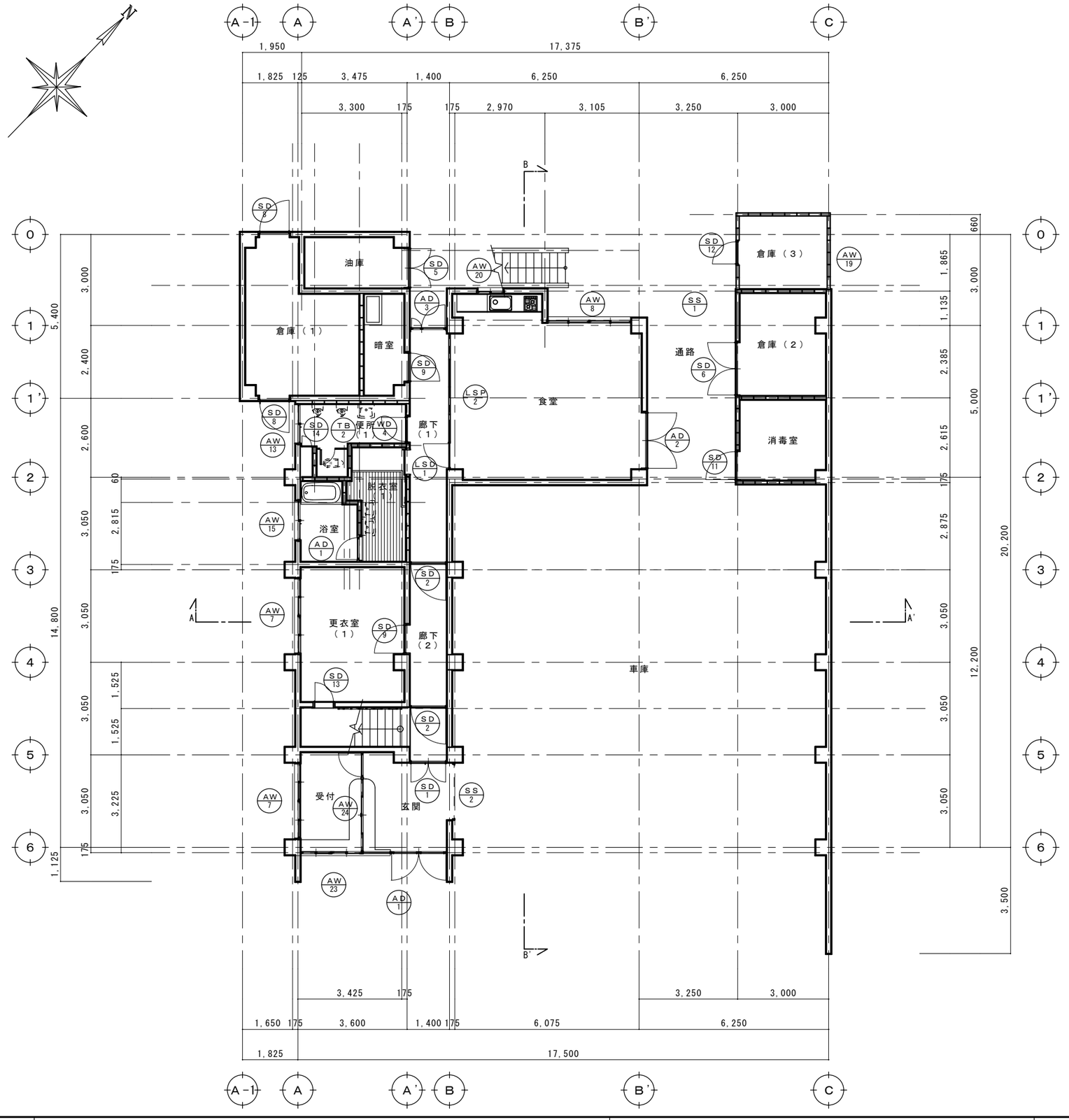
	W=5,500	W=6,400	W=7,300	W=8,200	W=9,100
柱	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3
梁	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3	□－100×100×2.3
基礎A	700	850	850	900	900
基礎B	700	850	850	900	900

記事

S=1/20

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日　付	仮設計画図５	S=1/50		A－０９
					R5.3		S=		



内部仕上表

アスベスト含有建材(みなし建材含む)を示す

室名	床	巾木	壁	備考
玄関	人研ぎ	木製巾木 H100 人研ぎ	モルタル下地の上EP塗	鏡、掲示板
受付	塩ビシートt2.0貼	木製巾木 H100	モルタル下地の上EP塗	受付用机
車庫	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	―	吹付リシン 一部モルタル下地の上EP-G塗	天吊換気グリル、鋼製ホース掛け 消防衣類用鋼製棚
廊下（１）	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	モルタル下地の上EP塗	下足入れ、吊戸棚
廊下（２）	人研ぎ	人研ぎ	モルタル下地の上EP塗	
更衣室（１）	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	合板張り	木製棚、黒板
脱衣室（１）	塩ビシートt2.0貼 フローリング敷	ビニル巾木 H100 木製巾木 H100	モルタル下地の上EP塗	木製棚
浴室	100角タイル貼	100角タイル貼	モルタル下地の上100角タイル貼	浴槽(W1250*D750)
便所（１）	100角タイル貼	100角タイル貼	モルタル下地の上100角タイル貼 モルタル下地の上EP塗（一部）	汚垂石2枚(800*800)
暗室	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	―	モルタル下地の上EP塗 一部モルタル下地の上100角タイル貼	木製棚、人研ぎ手洗い
倉庫（１）	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	―	モルタル素地	木製棚
油庫	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	―	モルタル素地	木製棚
食堂	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	モルタル下地の上EP-G塗	流し台、コンロ台、木製棚 自動販売機
消毒室	25角モザイクタイル貼	100角タイル貼	モルタル下地の上100角タイル	ステンレス流し台、陶器手洗い
倉庫（２）	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	―	モルタル素地	木製棚
倉庫（３）	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	―	CB積	木製棚
通路	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し	―	吹付リシン	下足入れ
階段室（共通）	塩ビシートt2.0貼	人研ぎ	モルタル下地の上EP-G塗	スチール防護柵 EP-G塗 鏡、掲示板

(**/*) 建具番号を示す

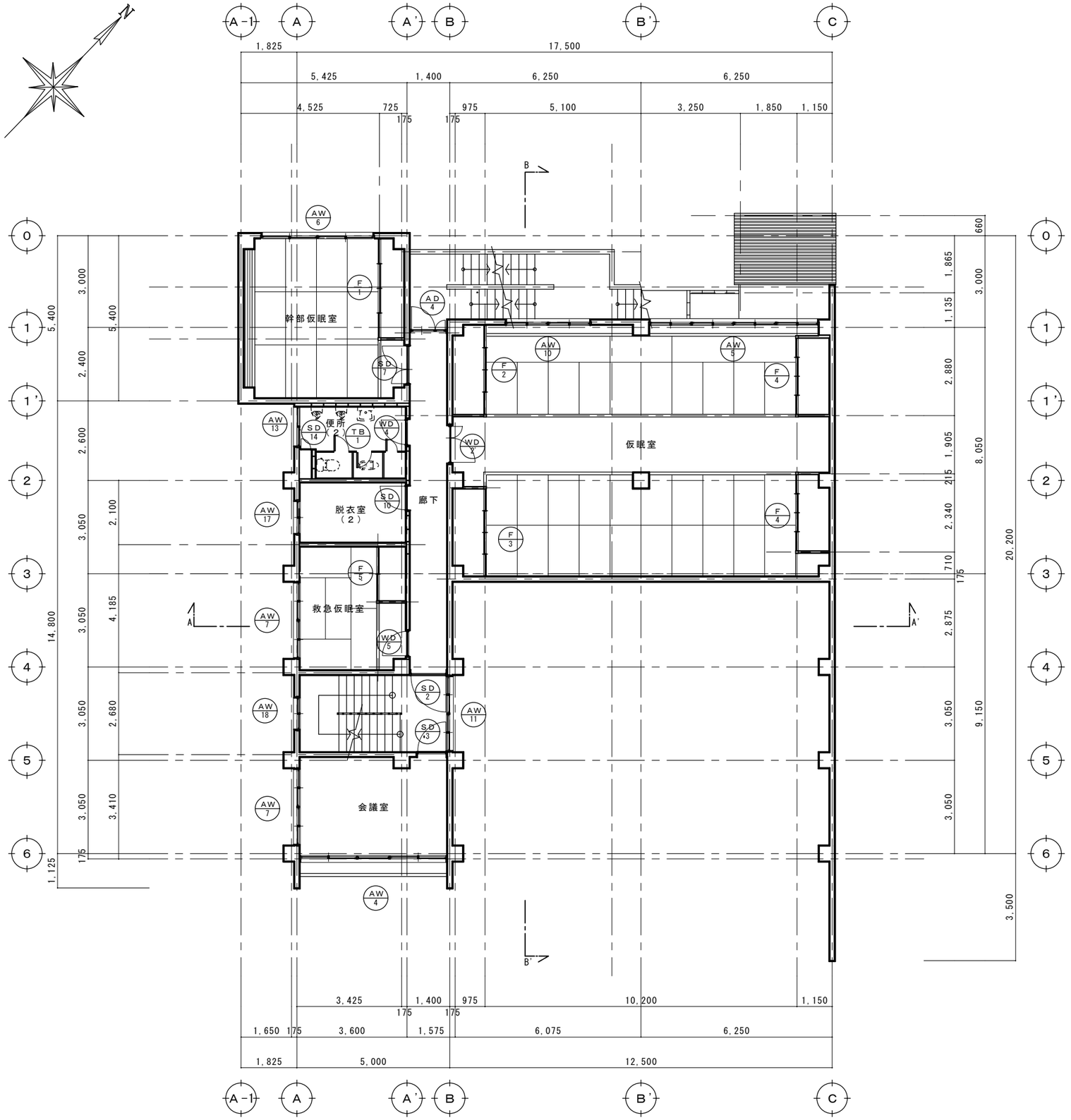
注：備考欄は参考であり各室内の残置物は全て撤去とする

記事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士 登録 第１４６１３４号 藤原 義弘

□本 社 大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL ０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店 兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL ０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日付	１階平面図	S=1/100		A－１０
					R5.3		S=		



内部仕上表

アスベスト含有建材(みなし建材含む)を示す

室名	床	巾木	壁	備考
会議室	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	ビニールクロス張り	鋼製棚、木製棚、黒板 ブラインドBOX(ブラインド共)
救急仮眠室	畳敷き 塩ビシートt2.0貼	木製巾木 H100 ビニル巾木 H100	ビニールクロス張り	押入、木製棚 カーテンBOX(カーテン共)
脱衣室（２）	人研ぎ	100角タイル貼	モルタル下地の上100角タイル貼 モルタル下地の上EP塗（一部）	人研ぎ手洗場
廊下	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	モルタル下地の上EP塗 合板張り（一部）	下足入れ
便所（２）	100角タイル貼	100角タイル貼	モルタル下地の上100角タイル貼 モルタル下地の上EP塗（一部）	汚垂石2枚(800*800)
PS	コンクリート直押え	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ表し CB表し	
幹部仮眠室	畳敷き 塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	モルタル下地の上EP塗	押入、ロッカー カーテンBOX(カーテン共)
仮眠室	畳敷き 塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	モルタル下地の上EP塗	押入、ロッカー カーテンBOX(カーテン共)

(**/*) 建具番号を示す

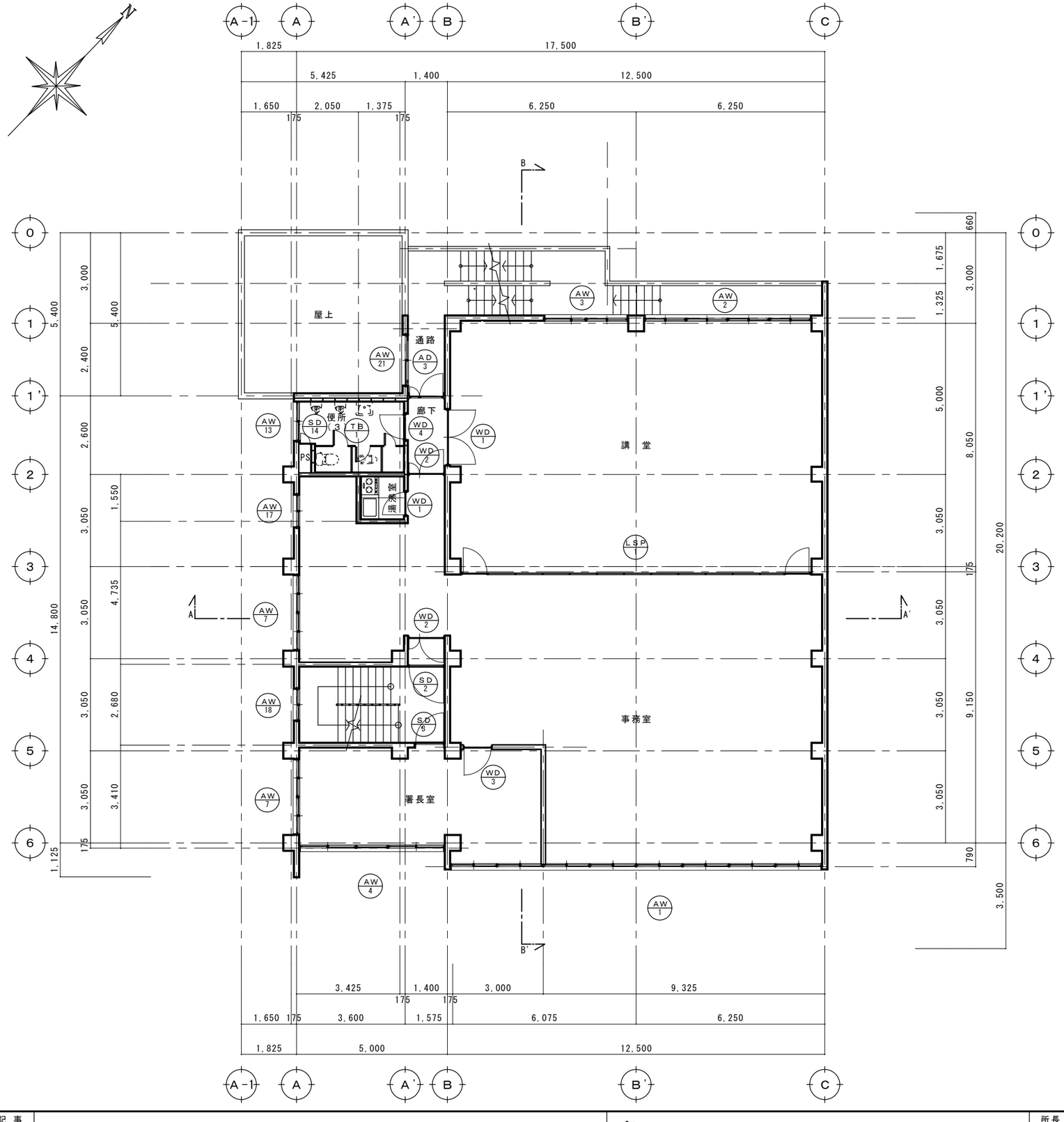
注：備考欄は参考であり各室内の残置物は全て撤去とする

記事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘

□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日付	２階平面図	S=1/100		A－１１
					R5.3		S=		



外部仕上表

屋上	平場：コンクリート押えの上塗膜防水 立上：コンクリート押えの上塗膜防水
通路	床　：塗膜防水 外壁：吹付リシン

内部仕上表

アスベスト含有建材(みなし建材含む)を示す

室名	床	巾木	壁	備考
署長室	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	ビニールクロス張りの上EP-G塗	鋼製棚、木製棚、独立洗面台 ブラインドBOX(ブラインド共)
事務室	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	ビニールクロス張りの上EP-G塗	鋼製棚、木製棚 ブラインドBOX(ブラインド共)
湯沸室	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100 100角ﾀｲﾙ（一部）	モルタル下地の上EP-G塗 モルタル下地の上100角タイル貼(一部)	流し台、コンロ台 木製棚、吊戸棚
廊下	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	モルタル下地の上EP塗	
便所（３）	100角タイル貼	100角タイル貼	モルタル下地の上100角タイル貼 モルタル下地の上EP塗（一部）	汚垂石2枚(800*800)
PS	コンクリート直押え	ー	ｺﾝｸﾘｰﾄ表し CB表し	
講堂	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H300	ビニールクロス張りの上EP-G塗 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t6.0の上EP-G塗	鋼製棚、ロッカー、木製棚、掲示板 カーテンBOX(カーテン共)

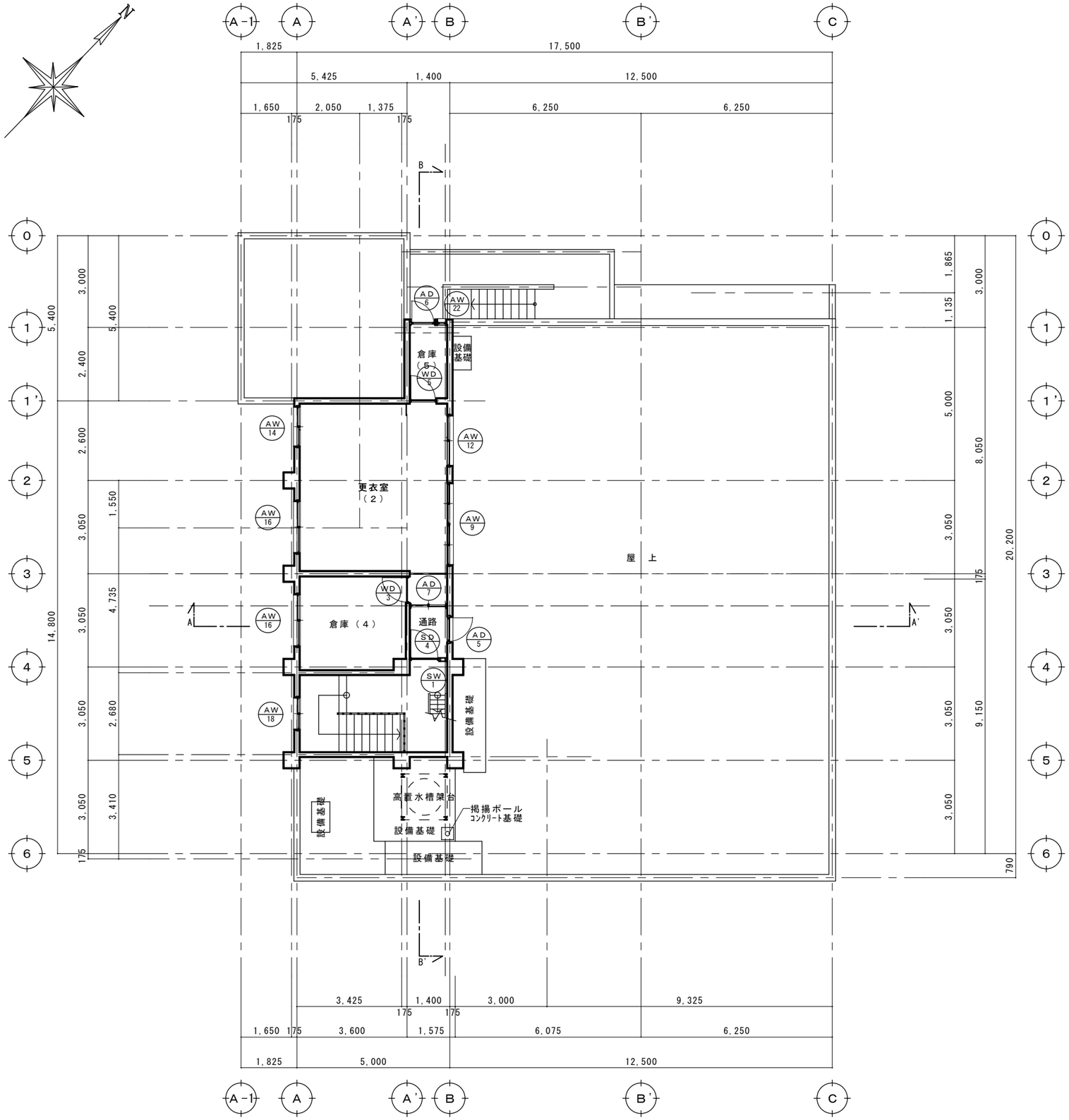
** / * 建具番号を示す

注：備考欄は参考であり各室内の残置物は全て撤去とする

記事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（ニ）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　06-6223-5850
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　0794-62-4757

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日付	３階平面図	S=1/100		A－１２
					R5.3		S=		



外部仕上表

屋上	平場：アスファルト防水の上押えコンクリート 立上：シート防水の上、塗膜防水
設備基礎	平場：コンクリート直押え 立上：コンクリート直押え

内部仕上表

アスベスト含有建材(みなし建材含む)を示す

室名	床	巾木	壁	備考
倉庫（4）	塩ビシートt2.0貼	木製巾木 H100	モルタル下地の上EP塗 下地石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上EP塗	木製棚
更衣室（2）	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	石膏ボードt9.5の上 ビニールクロス張り	ロッカー カーテンBOX(カーテン共)
通路	塗膜防水	塗膜防水立上げ	吹付リシン	
倉庫（5）	塩ビシートt2.0貼	ビニル巾木 H100	ビニールクロス張り	

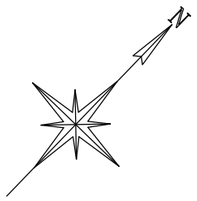
** / * 建具番号を示す

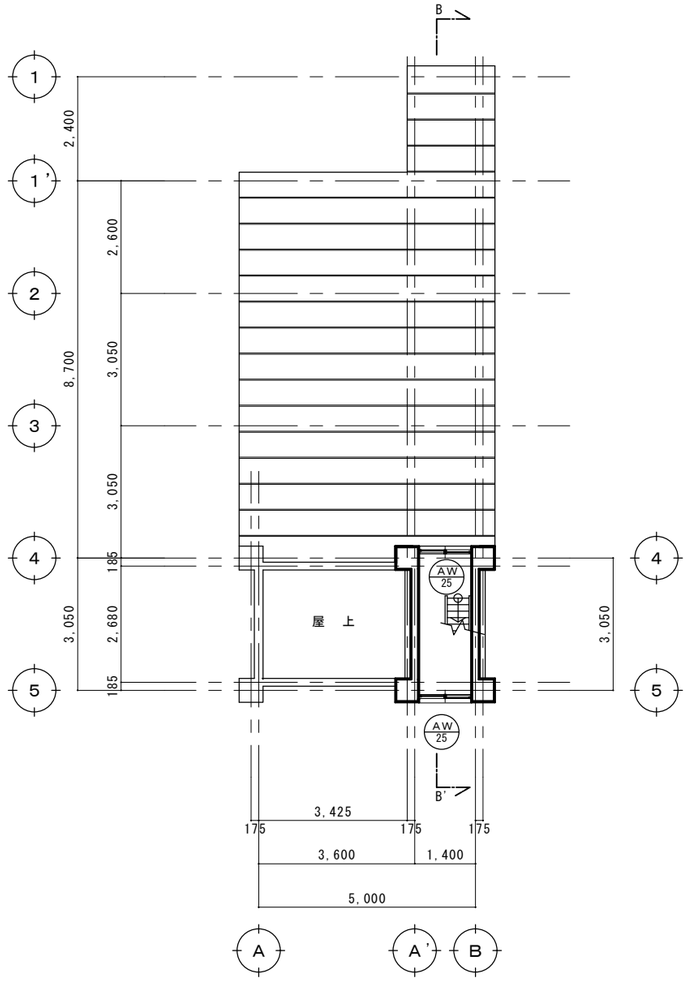
注：備考欄は参考であり各室内の残置物は全て撤去とする

記事

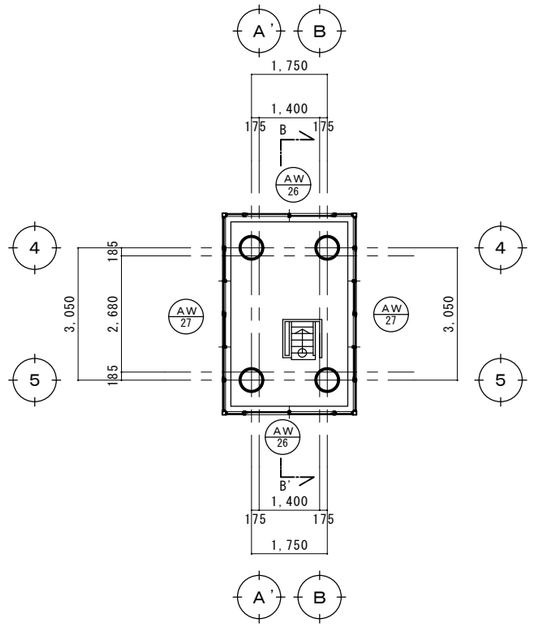
株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日付	4階平面図	S=1/100		A－１３
					R5.3		S=		

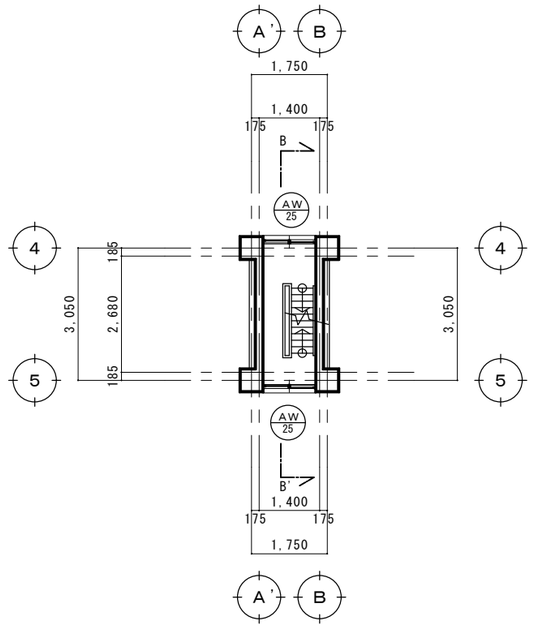




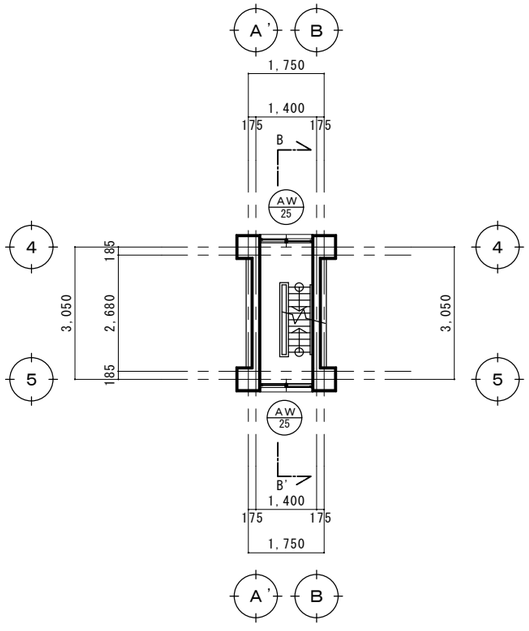
PH1階平面図



PH4階平面図



PH2階平面図



PH3階平面図

外 部 仕 上 表

アスベスト含有建材(みなし建材含む)を示す

屋上	平場：アスファルト防水の上押えコンクリート 立上：アスファルト防水　　天端：リシン吹付
屋根	カラー鋼板t0.5、アスファルトルーフィング、木毛セメント板 鉄骨下地、ロックウール吹付
PH4階屋上	平場：アスファルト防水の上押えコンクリート 立上：アスファルト防水の上押えコンクリート

内 部 仕 上 表

室　名	床	巾　木	壁	備　考
PH1階	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え	モルタル下地の上EP塗	鉄骨階段DP塗（手摺共）
PH2階	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え	モルタル下地の上EP塗	鉄骨階段DP塗（手摺共）
PH3階	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え	モルタル下地の上EP塗	鉄骨階段DP塗（手摺共）
PH4階	モルタルコテ押え	モルタルコテ押え	モルタル下地の上EP塗（柱共）	手摺DP塗、木製額、はしご

** / * 建具番号を示す

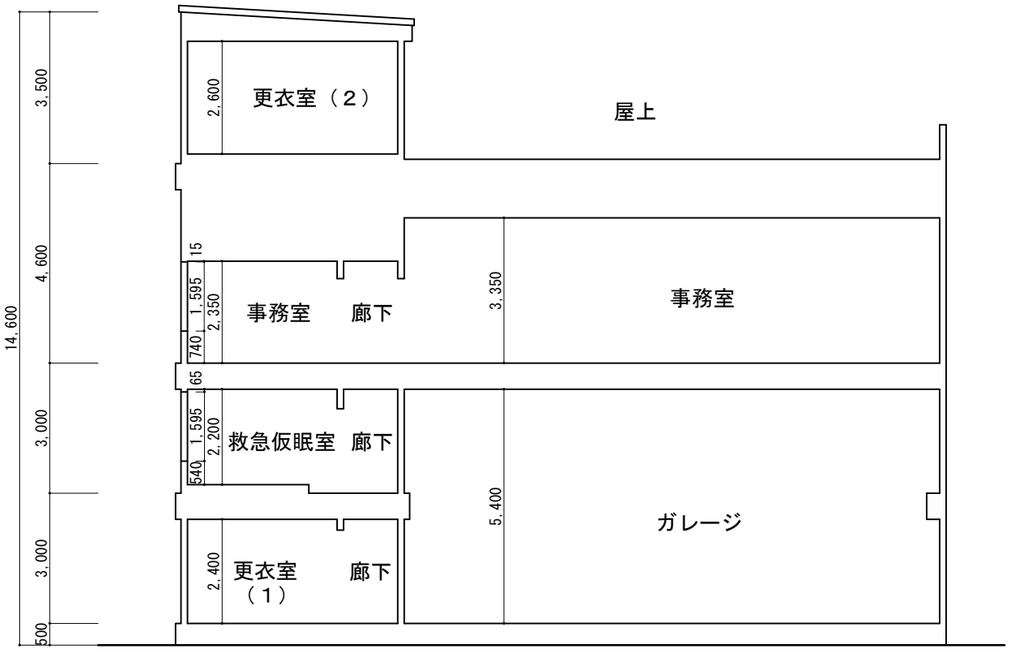
注：備考欄は参考であり各室内の残置物は全て撤去とする

記 事

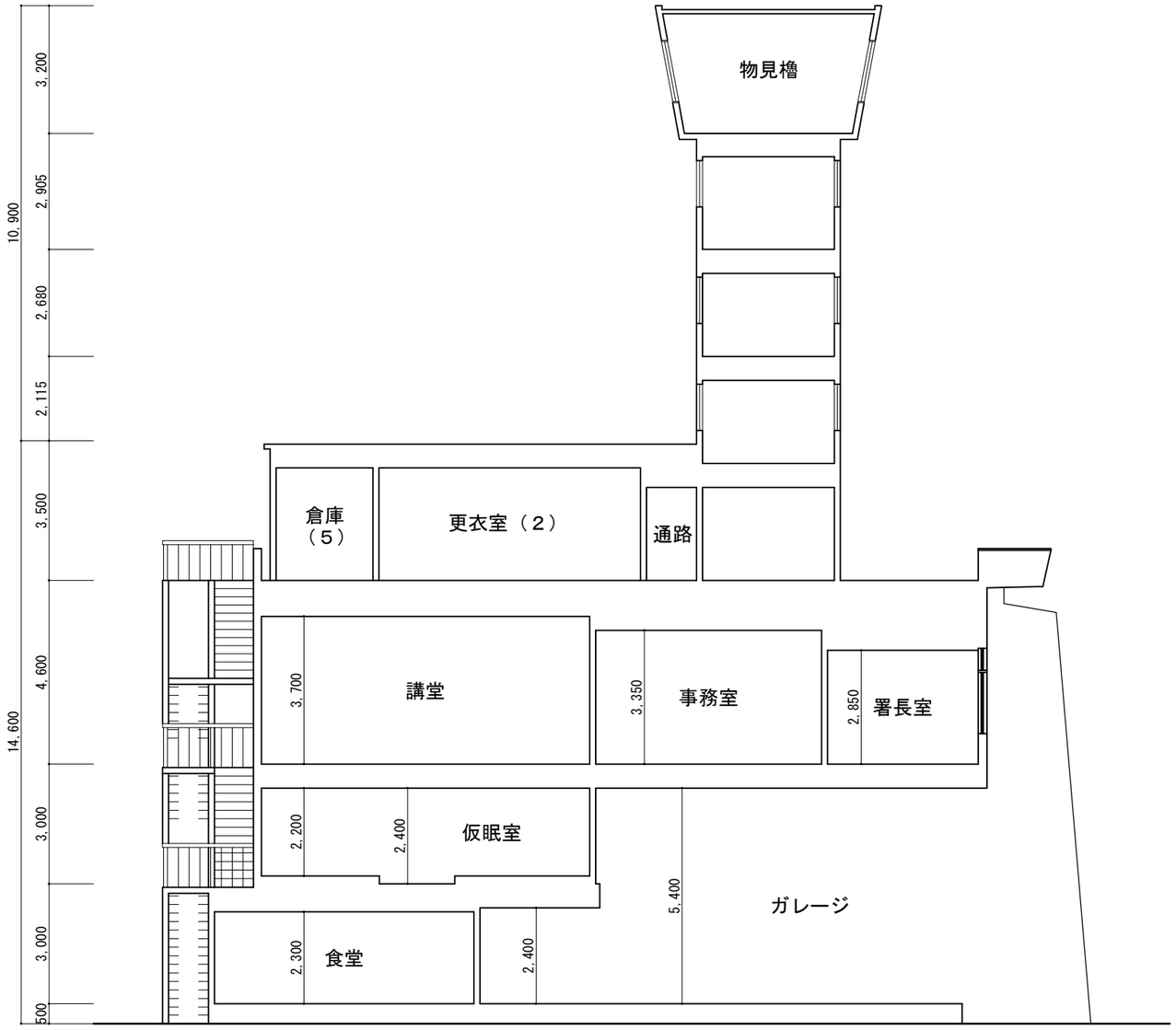
株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘

□本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日　付	ＰＨ１～４階平面図	S=1/100		A－１４
					R5.3		S=		

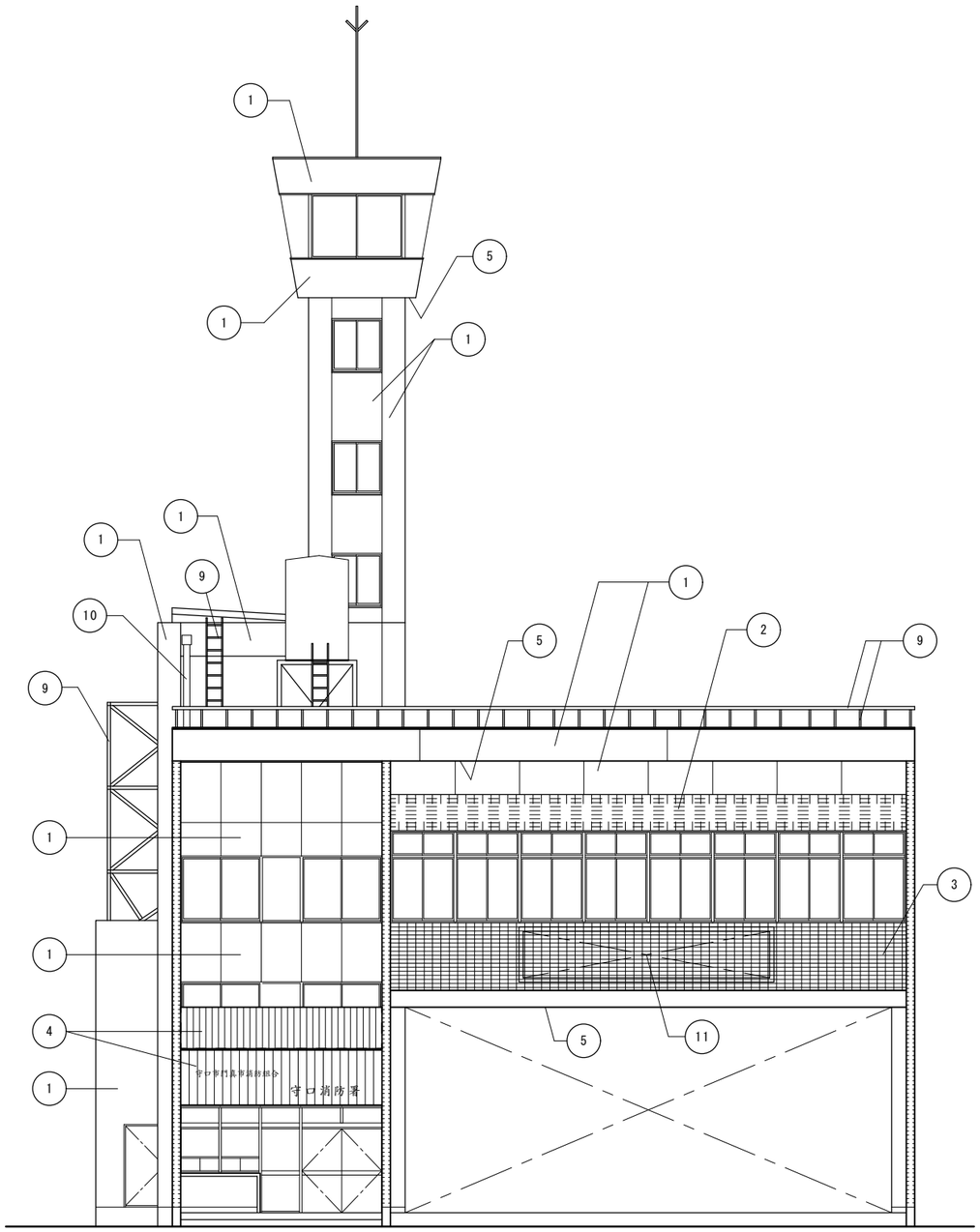


A-A’ 断面図

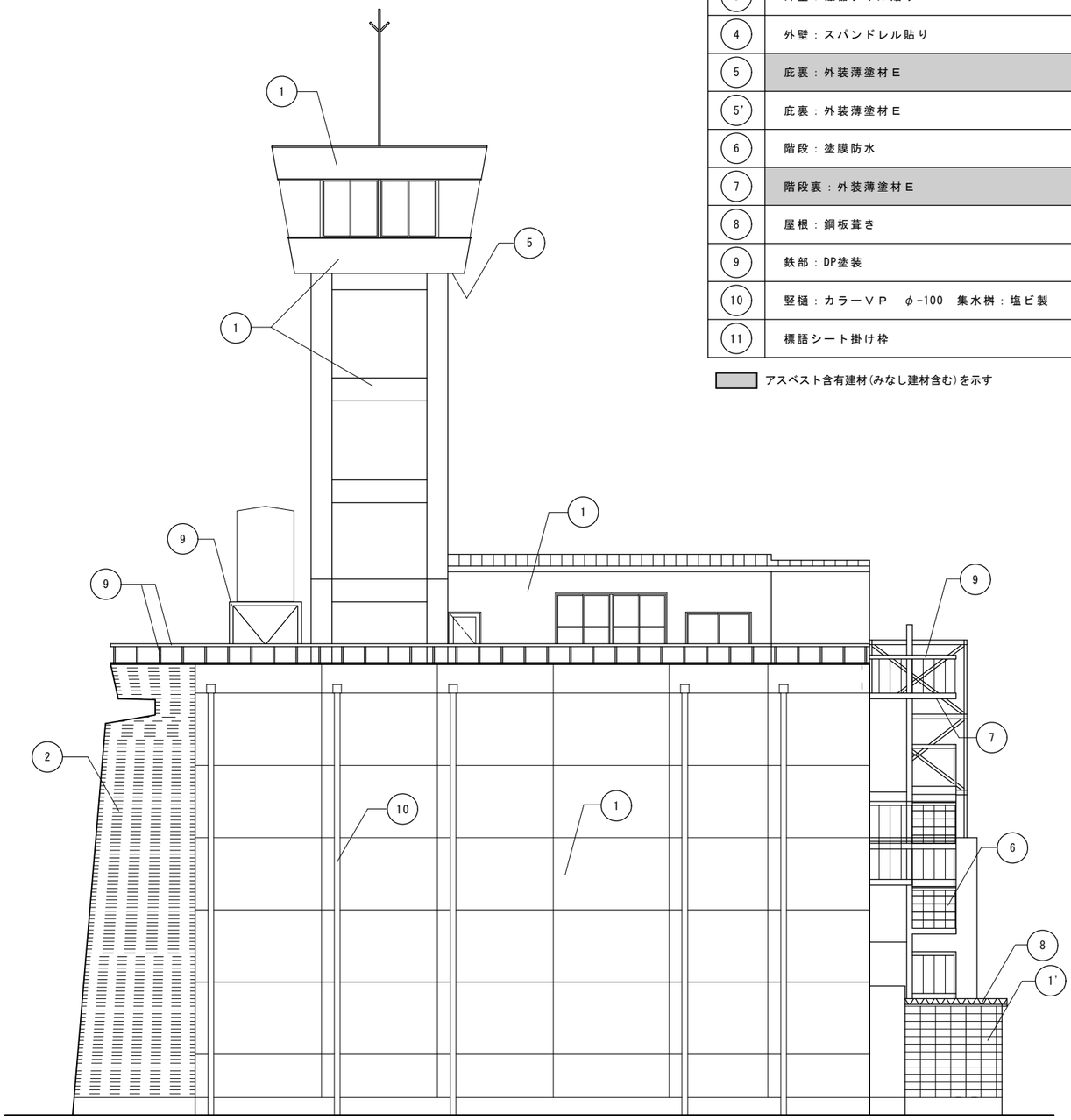


B-B’ 断面図

記事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第２２２７８号 一級建築士 登録 第１４６１３４号 藤原 義弘						日付	断面図	S=1/100		A－１５
		口本 社 大阪市中央区今橋２－２－１１ TEL 06－6223－5850 口兵庫支店 兵庫県小野市上本町２４０－４ TEL 0794－62－4757						R5.3		S=		



南　立　面　図



東　立　面　図

番　号	仕　　上
1	外壁：リシン吹付
1'	外壁：リシン吹付（CB造）
2	外壁：磁器タイル貼りの上可とう形改修塗材Ｅ
3	外壁：磁器タイル貼り
4	外壁：スパンドレル貼り
5	庇裏：外装薄塗材Ｅ
5'	庇裏：外装薄塗材Ｅ
6	階段：塗膜防水
7	階段裏：外装薄塗材Ｅ
8	屋根：鋼板葺き
9	鉄部：DP塗装
10	竪樋：カラーＶＰ　φ-100　集水桝：塩ビ製
11	標語シート掛け枠

アスベスト含有建材(みなし建材含む)を示す

記事

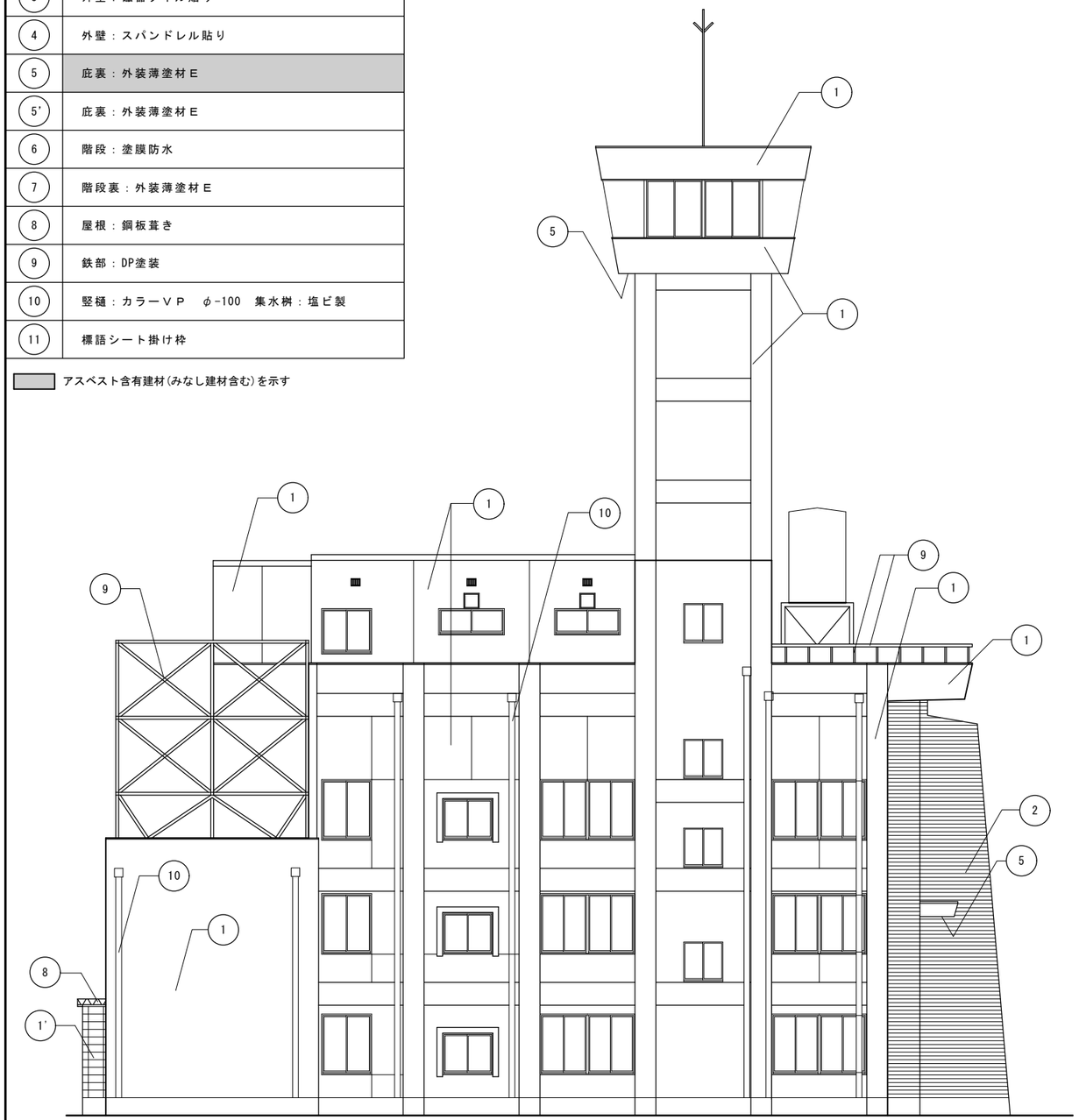
株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘

□本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

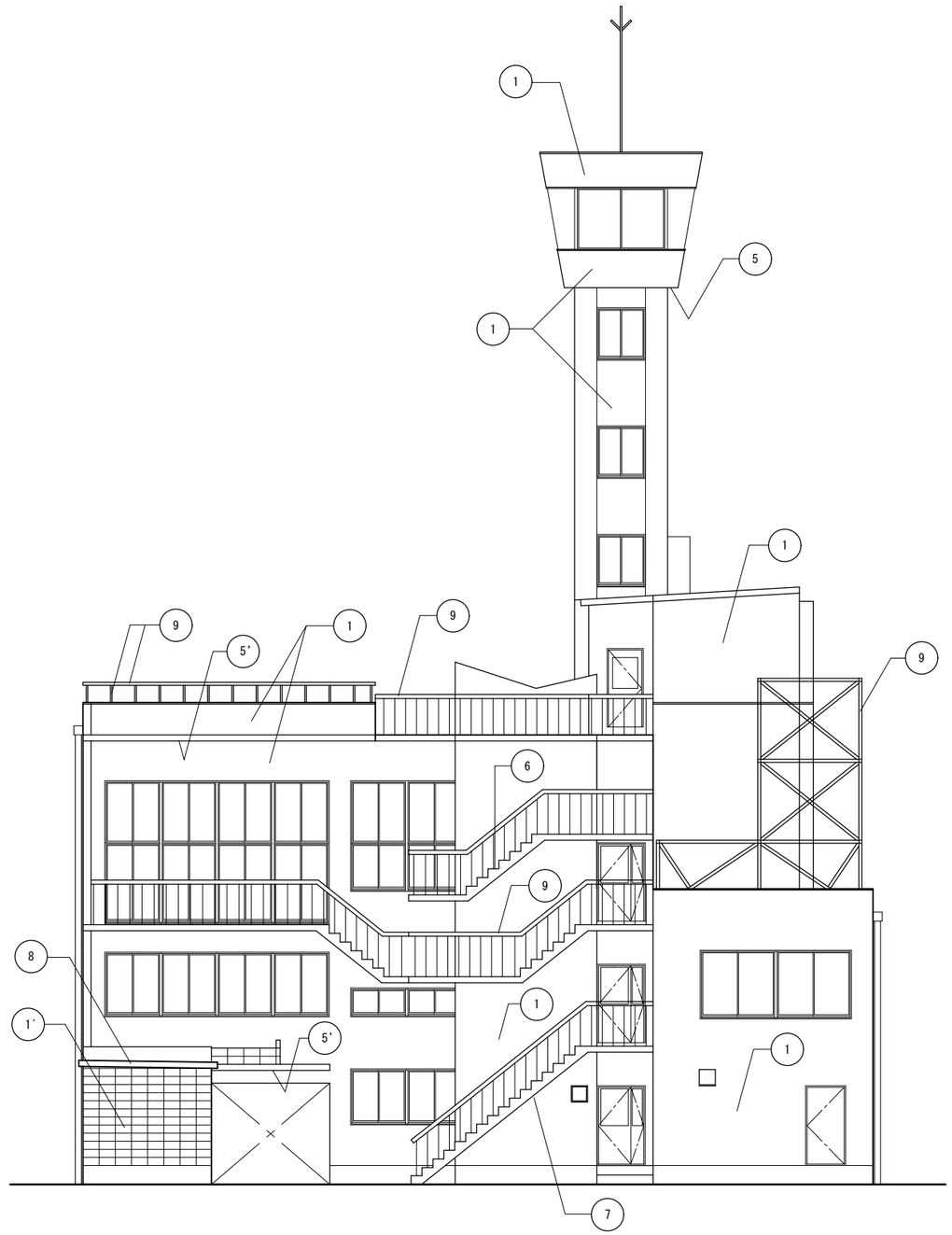
所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日　付	立面図１	S=1/100		Ａ－１６
					R5.3		S=		

番　号	仕　　上
1	外壁：リシン吹付
1'	外壁：リシン吹付（CB造）
2	外壁：磁器タイル貼りの上可とう形改修塗材Ｅ
3	外壁：磁器タイル貼り
4	外壁：スパンドレル貼り
5	庇裏：外装薄塗材Ｅ
5'	庇裏：外装薄塗材Ｅ
6	階段：塗膜防水
7	階段裏：外装薄塗材Ｅ
8	屋根：鋼板葺き
9	鉄部：DP塗装
10	竪樋：カラーＶＰ　φ-100　集水桝：塩ビ製
11	標語シート掛け枠

アスベスト含有建材(みなし建材含む)を示す

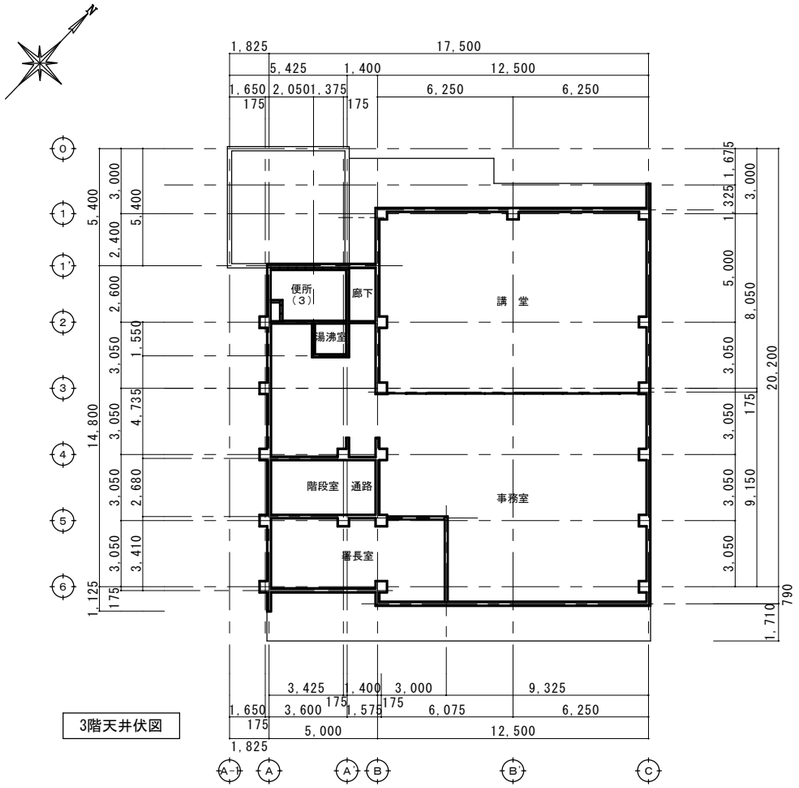


西　立　面　図

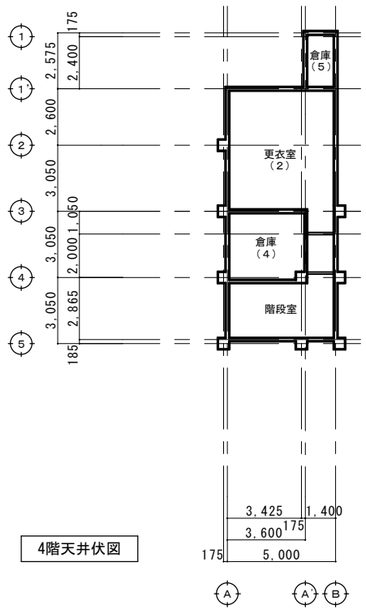


北　立　面　図

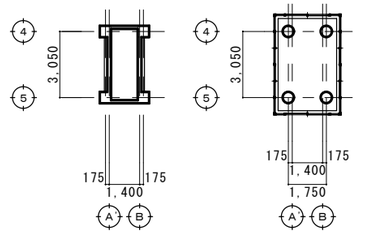
記　事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号 一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘						日　付	立面図２	S=1/100		A－１７
		口本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１ ＴＥＬ　０６－６２２３－５８５０ 口兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４ ＴＥＬ　０７９４－６２－４７５７						R5.3		S=		



3階天井伏図

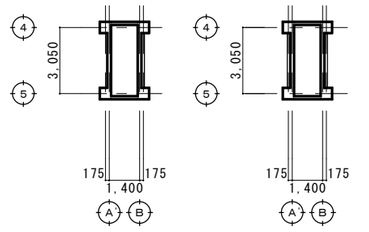


4階天井伏図



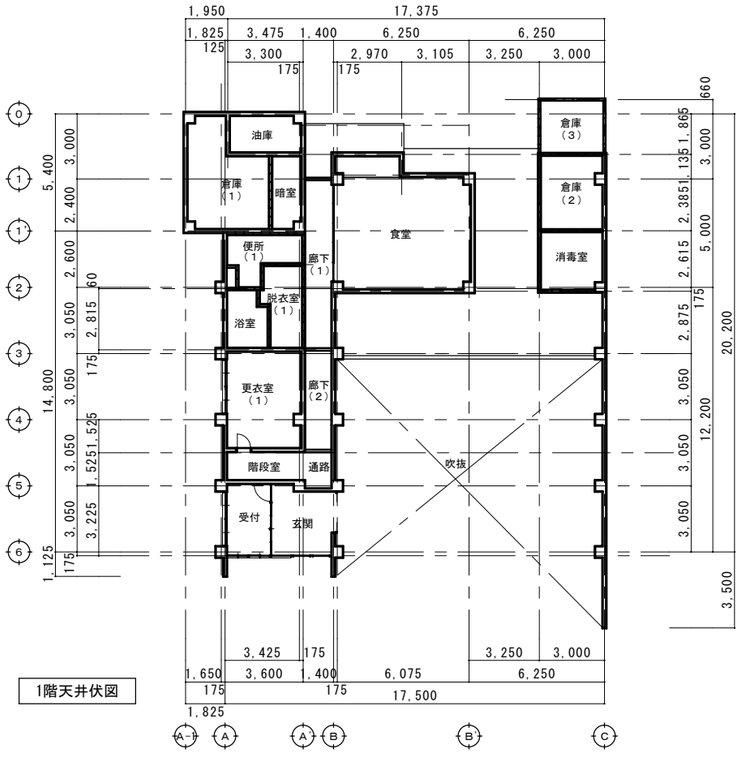
PH3階天井伏図

PH4階天井伏図

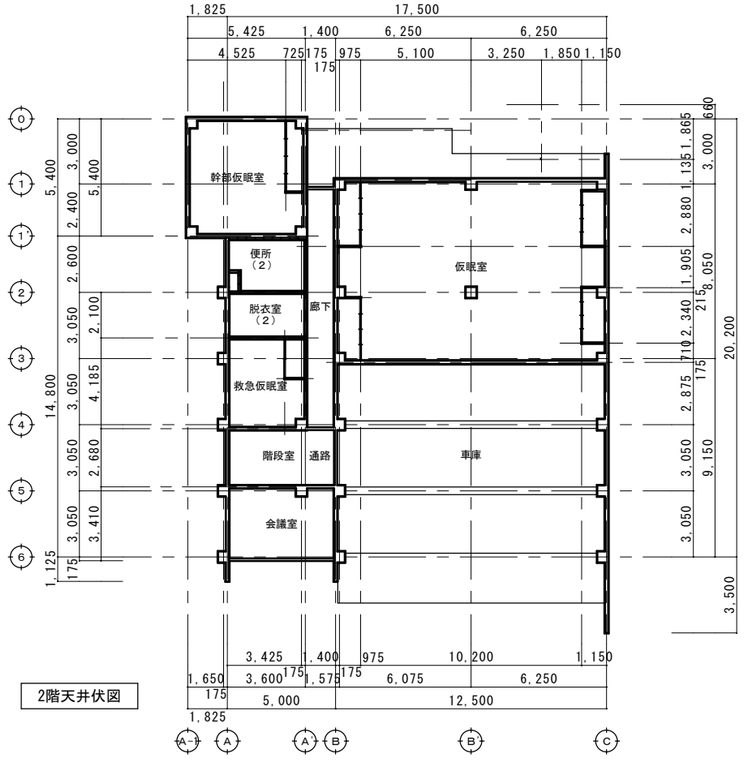


PH1階天井伏図

PH2階天井伏図



1階天井伏図



2階天井伏図

内部仕上表

アスベスト含有建材(みなし建材含む)を示す

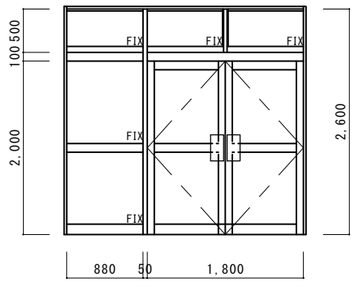
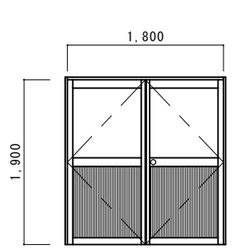
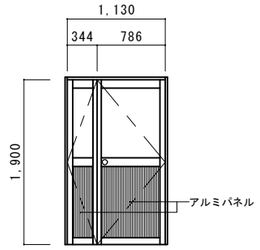
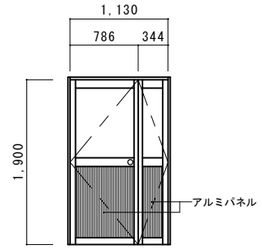
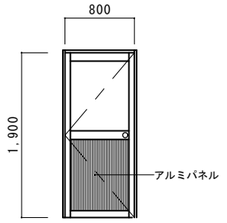
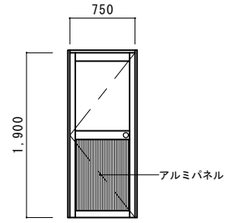
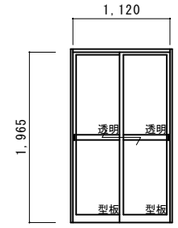
階	室名	天井	廻縁	備考
1階	玄関	LGS天井下地 アルミスパンドレル	塩ビ	
	受付	LGS天井下地 化粧石膏ボードt9.5の上EP-G塗	塩ビ	
	車庫	モルタル下地の上EP-G塗	―	天吊換気グリル（6ヵ所）
	廊下	LGS天井下地 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	更衣室（1）	LGS天井下地 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	脱衣室（1）	LGS天井下地 ケイ酸カルシウム板t6.0の上EP-G塗	木製	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	浴室	LGS天井下地 バスリブt6.0	―	
	便所（1）	LGS天井下地 化粧ケイ酸カルシウム板t6.0	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	暗室	モルタル下地の上EP塗	―	
	倉庫（1）	モルタル素地	―	
	油庫	モルタル素地	―	
	食堂	LGS天井下地、化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞt9.5の上EP-G塗 LGS天井下地、ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt6.0(一部)	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（2ヵ所） 吊戸棚、レンジフード
	消毒室	LGS天井下地 化粧ケイ酸カルシウム板t6.0	塩ビ	
	倉庫（2）	モルタル素地	―	
	倉庫（3）	―	―	
2階	会議室	LGS天井下地 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ	ブラインドBOX(ブラインド共)
	救急仮眠室	LGS天井下地 杉柾合板t6.0	木製	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所） カーテンBOX(カーテン共)
	脱衣室（2）	LGS天井下地 ケイ酸カルシウム板t6.0の上EP-G塗	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	廊下	LGS天井下地 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	便所（2）	LGS天井下地 化粧ケイ酸カルシウム板t6.0	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	幹部仮眠室	LGS天井下地、杉柾合板t6.0 ※天井裏 有孔石膏ボードt9.5	木製	カーテンBOX(カーテン共)
	仮眠室	LGS天井下地 杉柾合板t6.0	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（4ヵ所） カーテンBOX(カーテン共)
3階	署長室	LGS天井下地 化粧石膏ボードt9.5の上EP-G塗	塩ビ	ブラインドBOX(ブラインド共)
	事務室	LGS天井下地 化粧石膏ボードt9.5の上EP-G塗		アルミ製天井点検口450角（4ヵ所） ブラインドBOX(ブラインド共)
	湯沸室	LGS天井下地 ケイ酸カルシウム板t6.0の上EP-G塗	塩ビ	
	廊下	LGS天井下地 化粧石膏ボードt9.5	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	便所（3）	LGS天井下地 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t6.0の上EP-G塗	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	講堂	LGS天井下地、石膏ボードt9.5 ビニールクロス貼	塩ビ	カーテンBOX(カーテン共)
4階	倉庫（4）	LGS天井下地、化粧石膏ボードt9.5 ※天井裏鉄骨下地 ロックウール吹付	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（1ヵ所）
	更衣室（2）	LGS天井下地、化粧石膏ボードt9.5 ※天井裏鉄骨下地 ロックウール吹付	塩ビ	アルミ製天井点検口450角（2ヵ所） カーテンBOX(カーテン共)
	倉庫（5）	LGS天井下地、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t6.0 ※天井裏鉄骨下地 ロックウール吹付	木製	
PH階	1-3階 4階	モルタル素地 木毛セメント板	―	
共通	階段室 階段室前通路	モルタル下地の上EP-G塗 LGS天井下地、化粧石膏ボードt9.5	―	

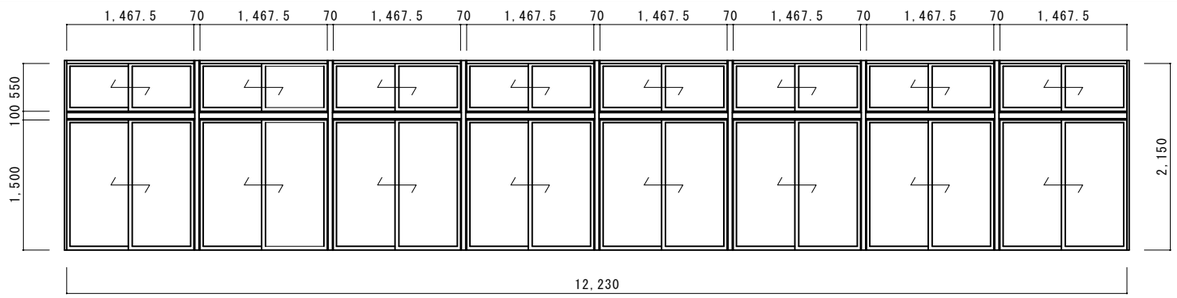
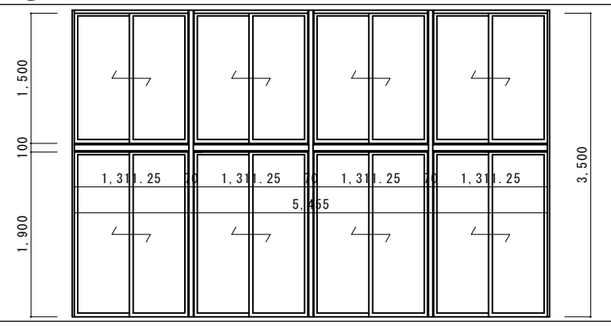
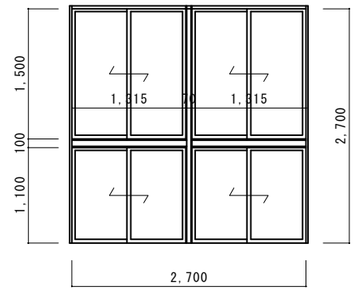
記事

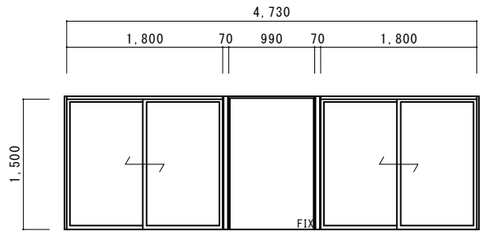
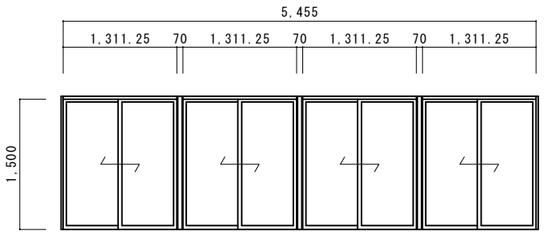
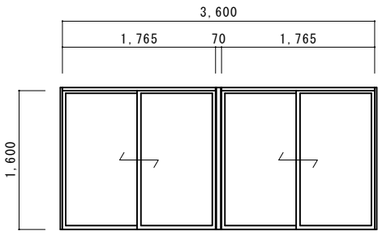
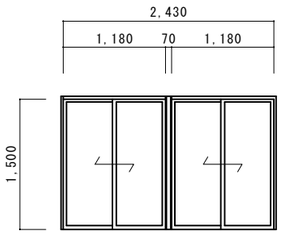
株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（ニ）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

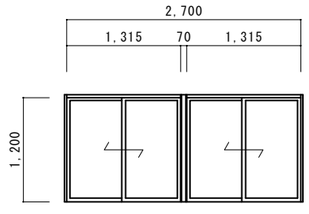
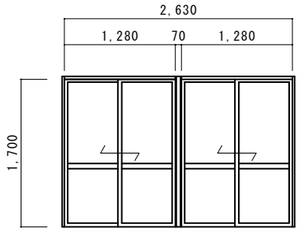
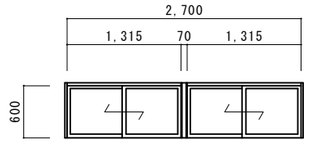
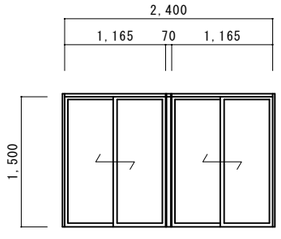
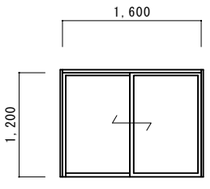
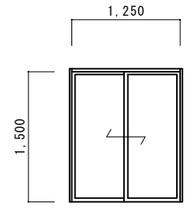
所長	管理建築士	総括	担当	作図

工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
日付	天井伏図	S=1/200		A－１８
R5.3		S=		

記号・種別	AD 1 嵌め殺し袖、欄間付き両開き戸フロントサッシ	AD 2 両開き框戸	AD 3 親子開き框戸	AD 4 親子開き框戸	AD 5 開き框戸	AD 6 開き框戸	AD 7 引違框戸
姿図・寸法							
数量・その他	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	2箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製 ・網入りガラスt=6.8

記号・種別	AW 1 欄間付き引違い窓	AW 2 欄間付き引違い窓	AW 3 欄間付き引違い窓
姿図・寸法			
数量・その他	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8

記号・種別	AW 4 嵌め殺し付き引違い窓	AW 5 引違い窓	AW 6 引違い窓	AW 7 引違い窓
姿図・寸法				
数量・その他	2箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	6箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8

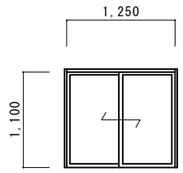
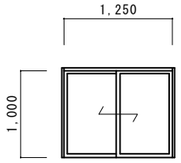
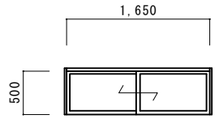
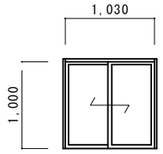
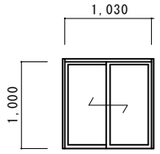
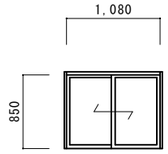
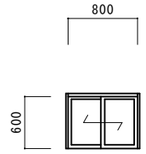
記号・種別	AW 8 引違い窓	AW 9 引違い窓	AW 10 引違い窓	AW 11 引違い窓	AW 12 引違い窓	AW 13 引違い窓
姿図・寸法						
数量・その他	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	3箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8

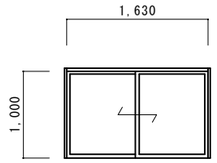
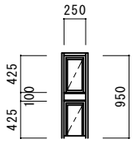
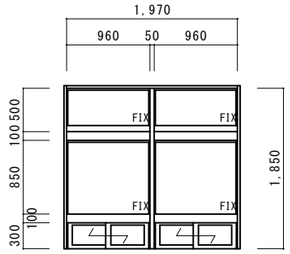
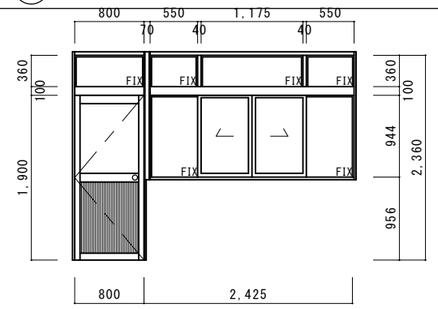
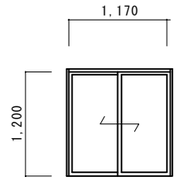
記事

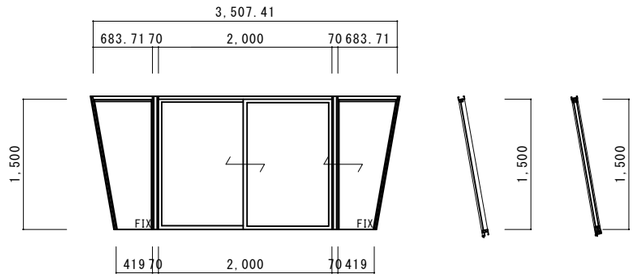
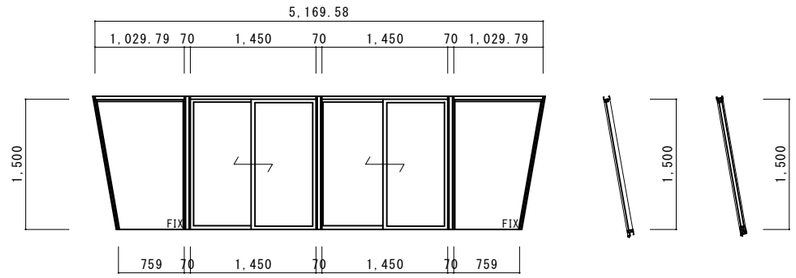
株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（ニ）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図

工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
日付	建具表１	S=1/50		A－１９
R5.3		S=		

記号・種別	AW 14 引違い窓	AW 15 引違い窓	AW 16 引違い窓	AW 17 引違い窓	AW 18 引違い窓	AW 19 引違い窓	AW 20 引違い窓
姿図・寸法							
数量・その他	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	2箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	2箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	3箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8 アルミ製面格子付き	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8

記号・種別	AW 21 引違い窓	AW 22 辷出し窓	AW 23 嵌め殺し欄間付き引違い窓フロントサッシ	AW 24 嵌め殺し欄間、引分け窓付き片開き框戸	AW 25 引違い窓	
姿図・寸法						
数量・その他	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・型板ガラスt=6.0	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	1箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	6箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	

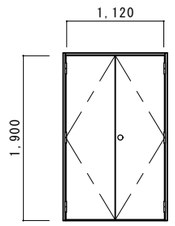
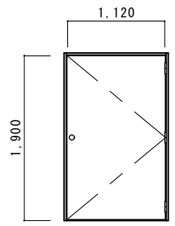
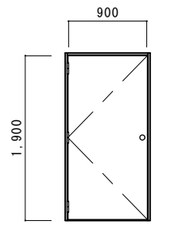
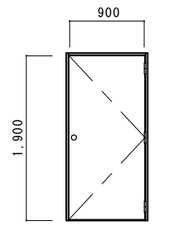
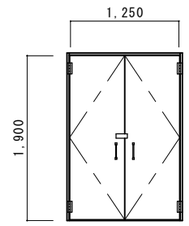
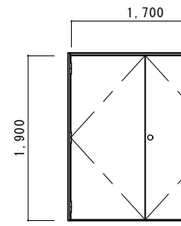
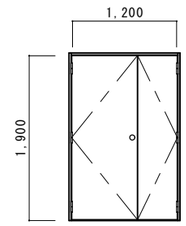
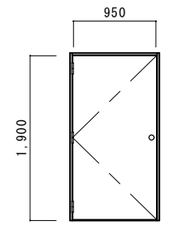
記号・種別	AW 26 嵌め殺し付き引違い窓	AW 27 嵌め殺し付き引違い窓	
姿図・寸法			
数量・その他	2箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	2箇所・アルミ製・網入りガラスt=6.8	

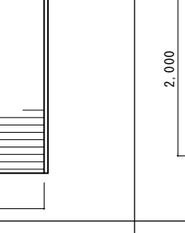
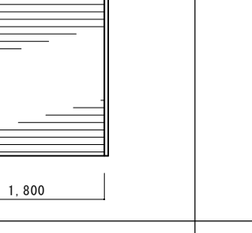
記号・種別	
姿図・寸法	
数量・その他	

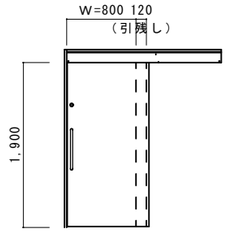
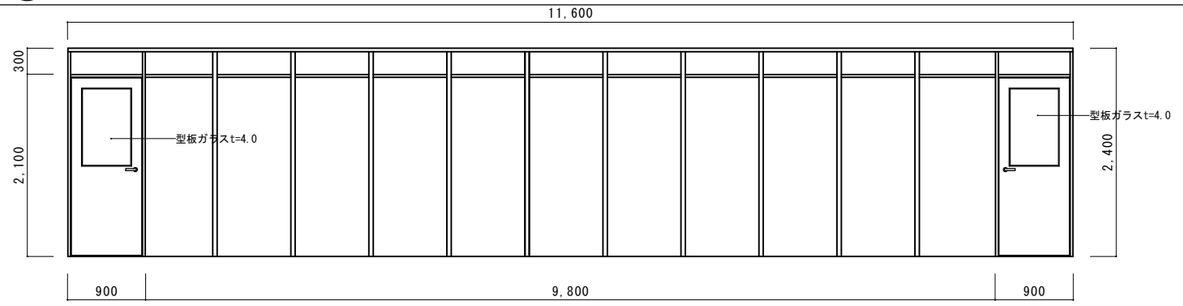
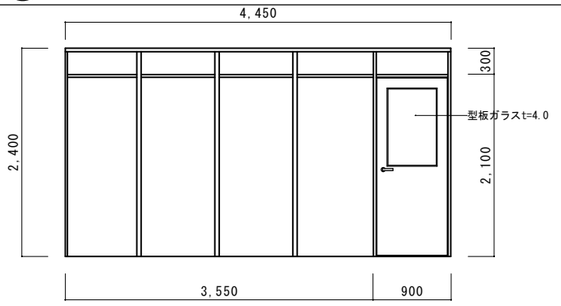
記事

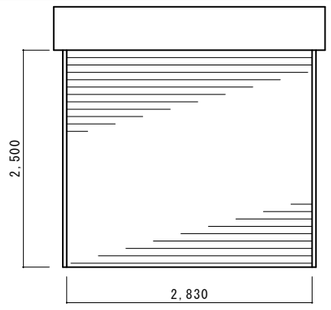
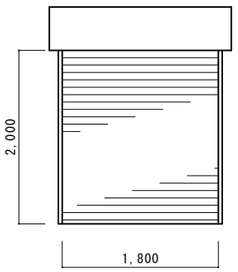
株式会社内藤設計
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士 登録 第１４６１３４号 藤原 義弘
□本 社 大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL 06－6223－5850
□兵庫支店 兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL 0794－62－4757

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日付	建具表２	S=1/50		A－２０
					R5.3		S=		

記号・種別	SD 1 両開フラッシュ戸	SD 2 片開きフラッシュ戸	SD 3 片開きフラッシュ戸	SD 4 片開きフラッシュ戸	SD 5 両開フラッシュ戸	SD 6 両開フラッシュ戸	SD 7 親子開フラッシュ戸	SD 8 片開きフラッシュ戸
姿図・寸法								
数量・その他	1箇所・スチール製特定防火設備	4箇所・スチール製特定防火設備	2箇所・スチール製特定防火設備	1箇所・スチール製特定防火設備	1箇所・スチール製特定防火設備 重量扉	1箇所・スチール製	1箇所・スチール製	2箇所・スチール製

記号・種別	SD 9 片開きフラッシュ戸	SD 10 片開きフラッシュ戸	SD 11 片開きフラッシュ戸	SD 12 片開きフラッシュ戸	SD 13 片開きパネル点検戸	SD 14 片開きパネル点検戸		SW 1 嵌め殺しガラスブロック窓
姿図・寸法								
数量・その他	2箇所・スチール製	1箇所・スチール製	1箇所・スチール製 小窓（網入り型板ガラスtr=608）	1箇所・スチール製 小窓（網入り型板ガラスtr=608）	1箇所・スチール製	3箇所・スチール製		1箇所・スチール製 ・ガラスブロック145x115 t=95

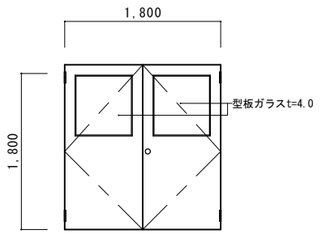
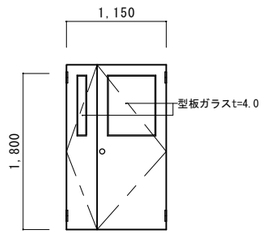
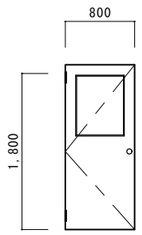
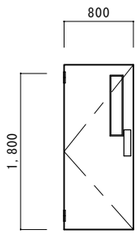
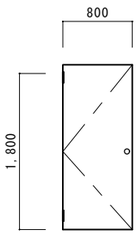
記号・種別	LSD 1 引込軽量フラッシュ戸	LSP 1 片開き軽量フラッシュ戸付き鋼製パーテーション	LSP 2 片開き軽量フラッシュ戸付き鋼製パーテーション
姿図・寸法			
数量・その他	1箇所・軽量スチール製	1箇所・軽量スチール製・型板ガラス t=4.0	1箇所・軽量スチール製・型板ガラス t=4.0

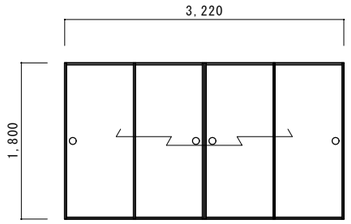
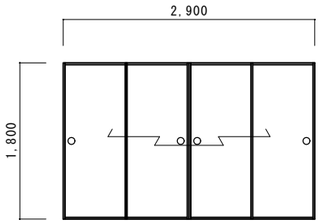
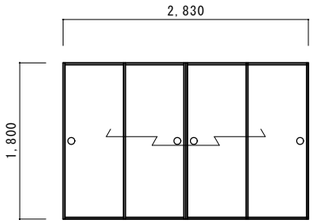
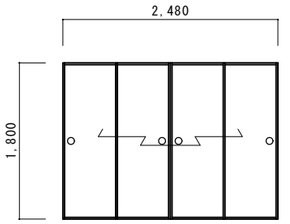
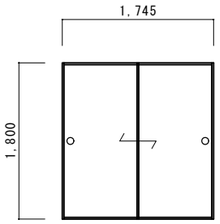
記号・種別	SS 1 重量スチールシャッター	SS 2 重量スチールシャッター	
姿図・寸法			
数量・その他	1箇所	1箇所	

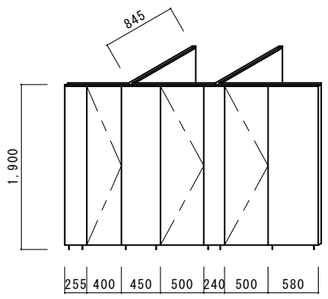
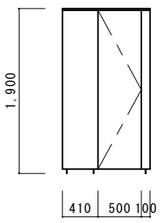
記事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士 登録 第１４６１３４号 藤原 義弘
□本 社 大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL ０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店 兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL ０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日付	建具表３	S=1/50		A－２１
					R5.3		S=		

記号・種別	WD 1 両開フラッシュ戸	WD 2 WD 2' 両開フラッシュ戸	WD 3 両開フラッシュ戸	WD 4 両開フラッシュ戸	WD 5 両開フラッシュ戸	
姿図・寸法		 WD 2' ：ガラス無し				
数量・その他	１箇所・木製・型板ガラス t=4.0	３箇所・木製・型板ガラス t=4.0	２箇所・木製・型板ガラス t=4.0	３箇所・木製・型板ガラス t=4.03	２箇所・木製	

記号・種別	F 1 引違い襖	F 2 引違い襖	F 3 引違い襖	F 4 引違い襖	F 5 引違い襖	
姿図・寸法						
数量・その他	１箇所・木製・襖紙	１箇所・木製・襖紙	１箇所・木製・襖紙	２箇所・木製・襖紙	１箇所・木製・襖紙	

記号・種別	TB 1 トイレブース	TB 2 トイレブース	
姿図・寸法			
数量・その他	２箇所・ポリ合板製	１箇所・ポリ合板製	

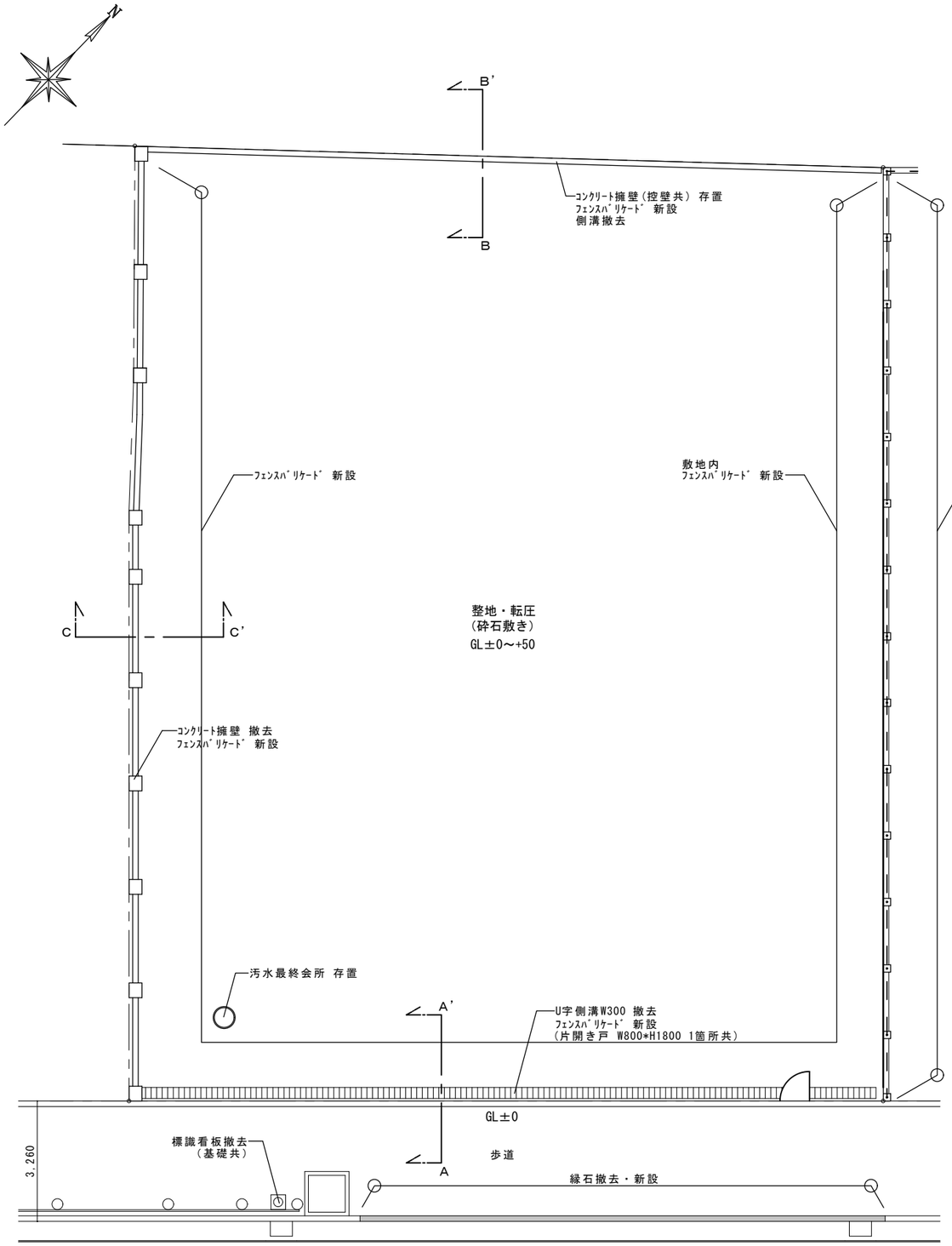
記号・種別	
姿図・寸法	
数量・その他	

記事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘

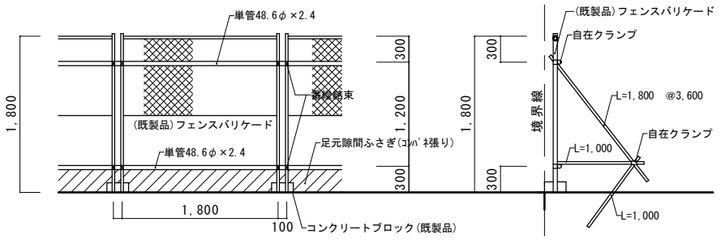
□本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日　付	建具表４	S=1/50		A－２２
					R5.3		S=		

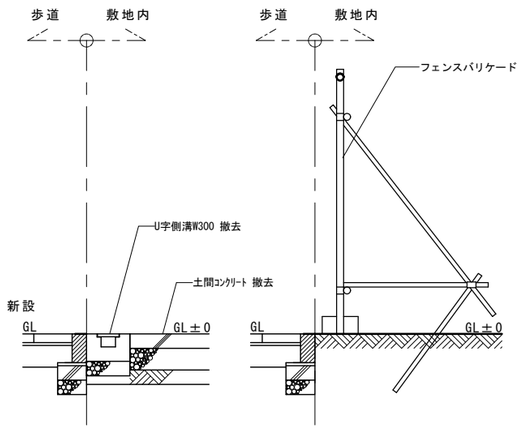


外構図　S=1/100

※敷地内の汚水最終会所は存置とする。

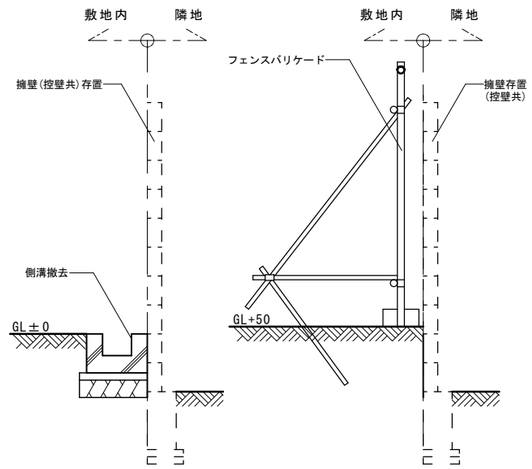


フェンスバリケード詳細図　S=1/50



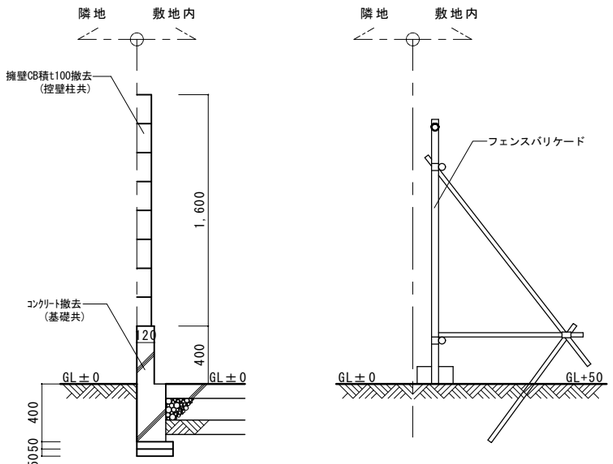
A－A'断面図　S=1/30

※撤去跡の既存部については補修を施すこと。



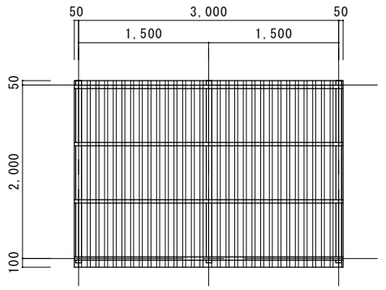
B－B'断面図　S=1/30

※撤去跡の既存部については補修を施すこと。

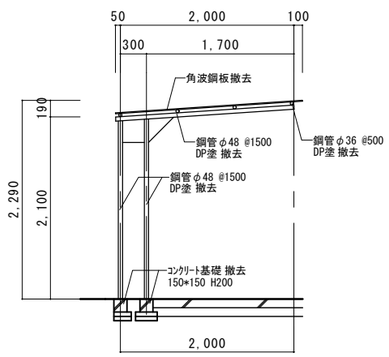


C－C'断面図　S=1/30

※撤去跡の既存部については補修を施すこと。

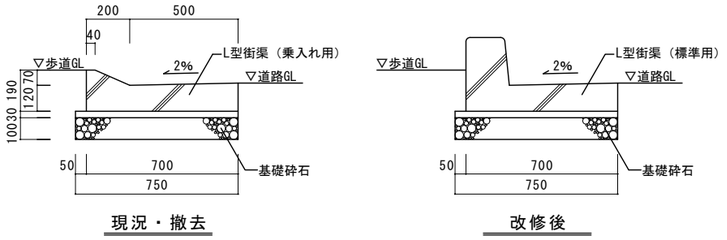


自転車置場　平面図　S=1/50

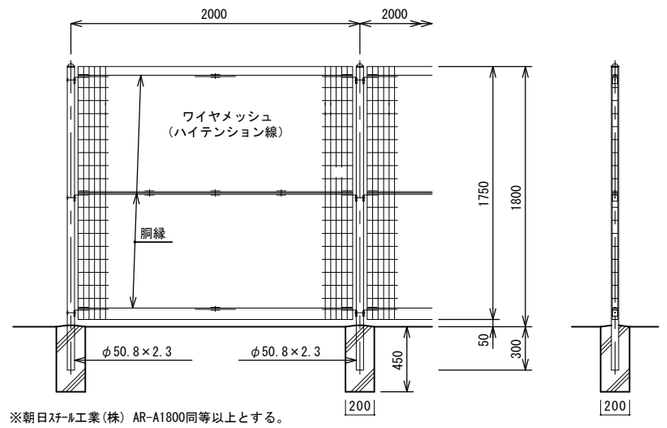


自転車置場　断面図　S=1/50

記事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第２２２７８号 一級建築士 登録 第１４６１３４号 藤原 義弘						日付	外構図１	S=1/100		A－２３
		口本社 大阪市中央区今橋２－２－１１ TEL ０６－６２２３－５８５０ 口兵庫支店 兵庫県小野市上本町２４０－４ TEL ０７９４－６２－４７５７						R5.3		S=1/30.50		



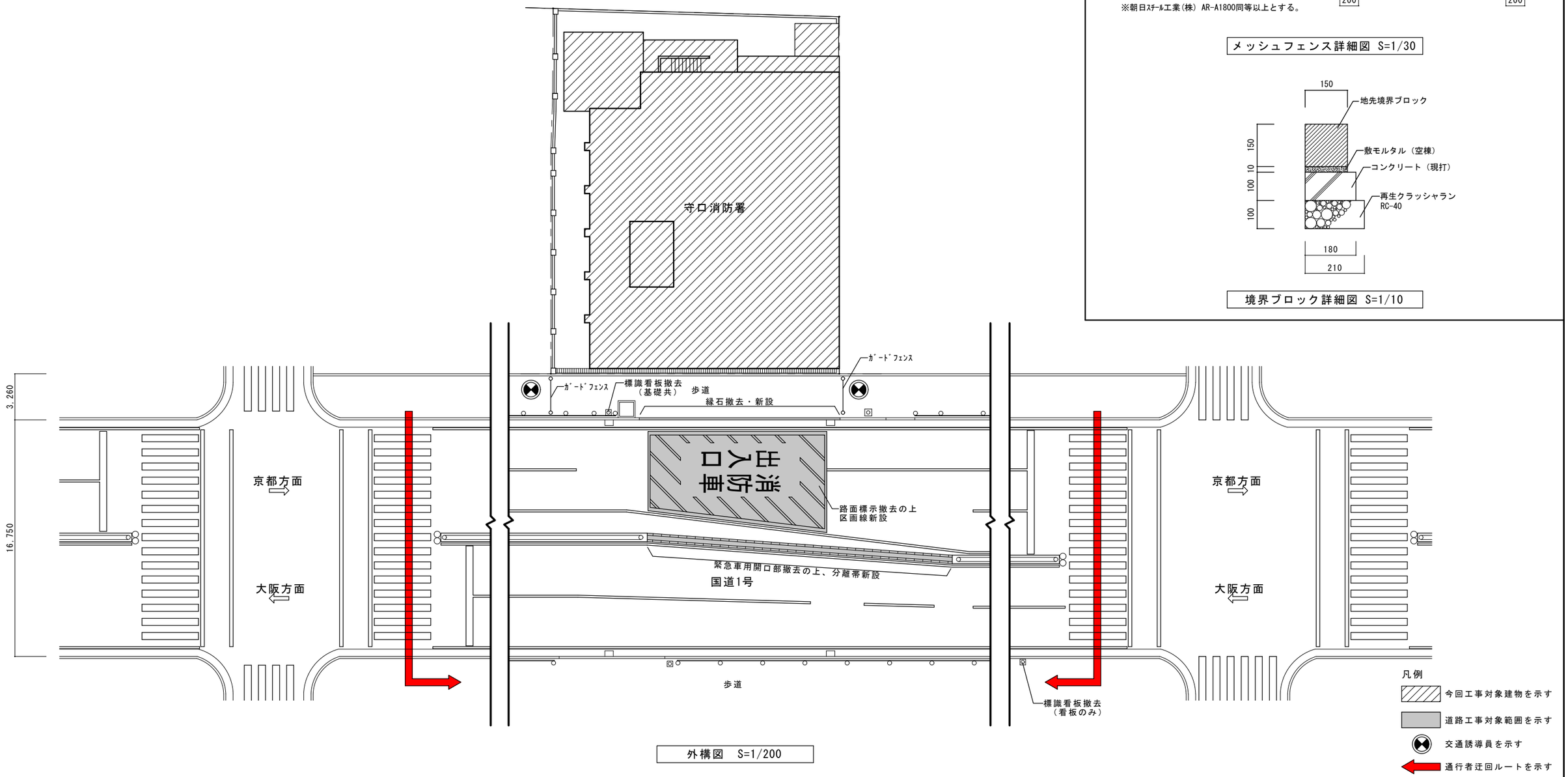
歩道縁石詳細図　S=1/20



※朝日ｽﾁｰﾙ工業(株) AR-A1800同等以上とする。

メッシュフェンス詳細図 S=1/30

境界ブロック詳細図 S=1/10

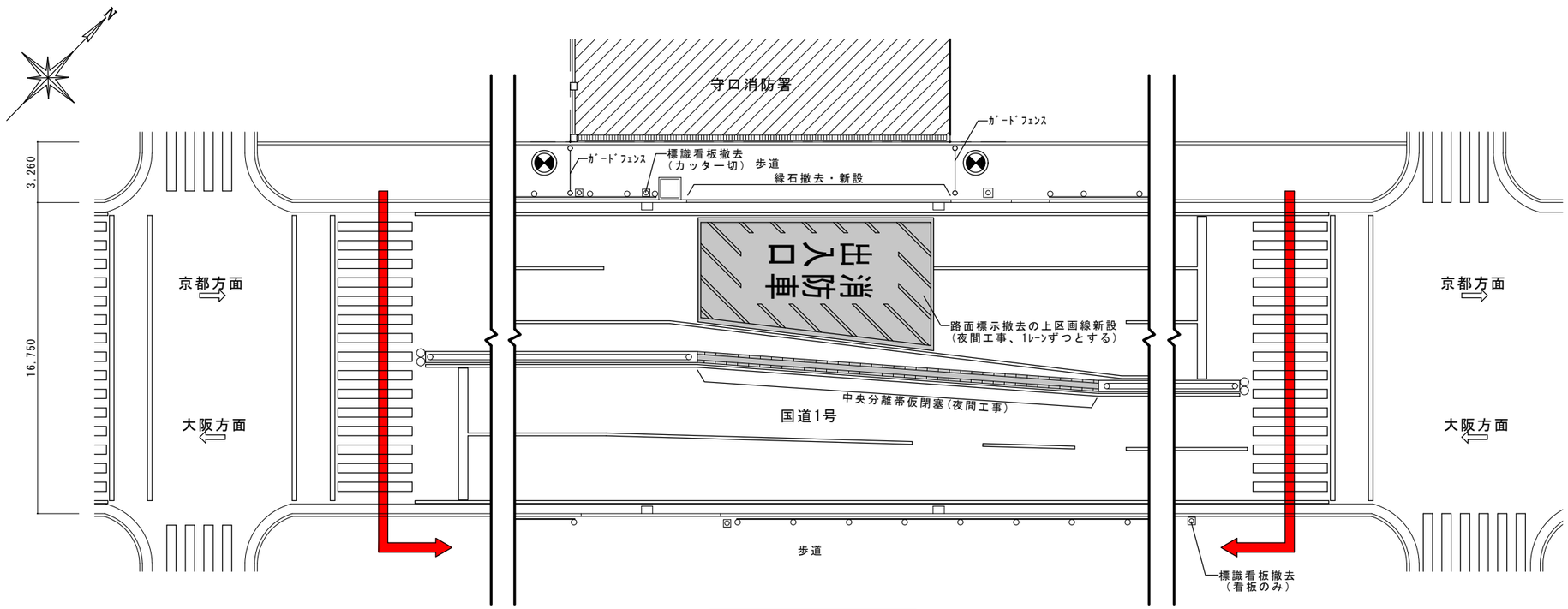


外構図　S=1/200

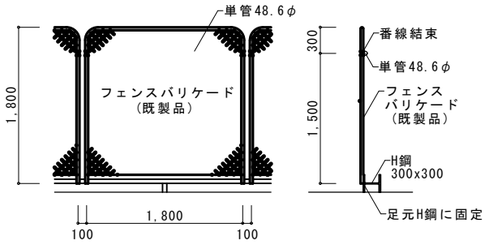
記事		所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
							日付	外構図２	S=1/200		A－２４
							R5.3		S=1/10.20.30		

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１
TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４
TEL　０７９４－６２－４７５７

中央分離帯閉塞図（仮閉塞）



外構図　S=1/200

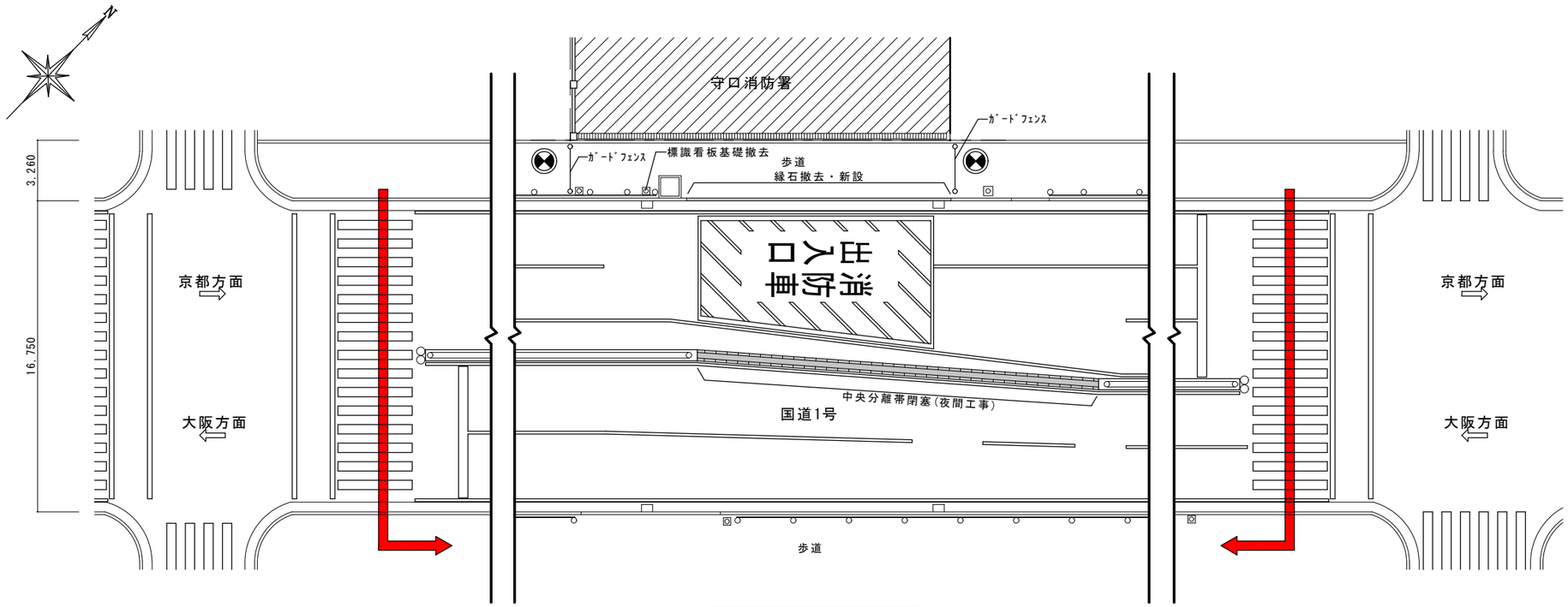


仮閉塞詳細図　S=1/50

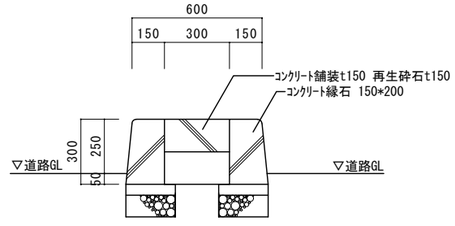
特記事項
仮閉塞は工事着工後ただちに施すこと。（令和5年8月1日より）
ゼブラゾーン・標識看板（ポール）も先行撤去とする。
国道工事は夜間工事（PM22時～AM5時）とする。
国道は１レーンを確保し、白線より出ないよう施工すること。

凡例
- 今回工事対象建物を示す
- 道路工事対象範囲を示す
- 交通誘導員を示す
- 通行者迂回ルートを示す

中央分離帯閉塞図（本閉塞）



外構図　S=1/200　※標識看板撤去跡は埋戻しの上、カラー平板舗装とする。



中央分離帯閉塞詳細図　S=1/30

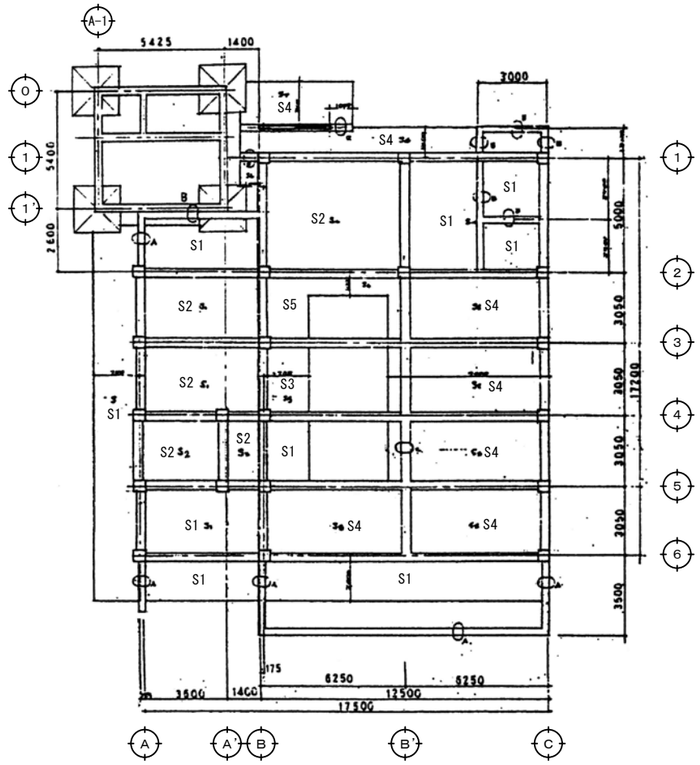
特記事項
本閉塞は工事完了前に施すこと。
標識看板の基礎も撤去すること。
国道は１レーンを確保すること。（白線より出ないように）
国道工事は夜間工事（PM22時～AM5時）とする。

凡例
- 今回工事対象建物を示す
- 道路工事対象範囲を示す
- 交通誘導員を示す
- 通行者迂回ルートを示す

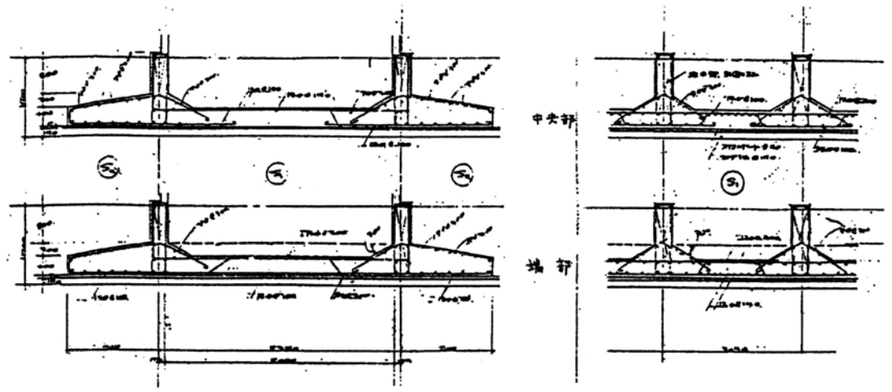
記事

株式会社内藤設計
一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号
一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘
□本　　社　大阪市中央区今橋２－２－１１　TEL　０６－６２２３－５８５０
□兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４　TEL　０７９４－６２－４７５７

所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
					日　付	外構図３	S=1/200		A－２５
					R5.3		S=1/20.50		



基礎伏図 S=1/200



基礎配筋図 S=1/100

地中梁リスト

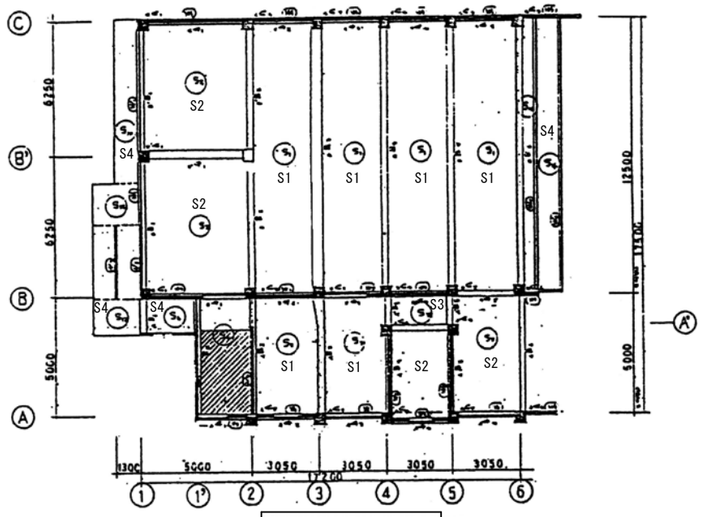
A			B			C		
▽GL 1,600 300			50 550 300			50 1,550 400		
主筋	上端筋	2-D19	主筋	上端筋	2-D19	主筋	上端筋	2-D19
	下端筋	2-D19		下端筋	2-D19		下端筋	2-D19
腹筋		2-D10	腹筋		2-D10	腹筋		2-D10
幅止め筋		D10-@1000	幅止め筋		D10-@1000	幅止め筋		D10-@1000

基礎スラブリスト

符号	位置	厚み	短辺		長辺	
			中央	端部	中央	端部
S1	上	400～100	100	200	150	200
	下			100		150
S2	上	400～100	150	200	150	200
	下			150		200
S3	上	400～100	150	200	150	200
	下			150		200
S4	上	400～100	100	200	150	200
	下			100		200
S5	上	400～100	100	100	200	200
	下					

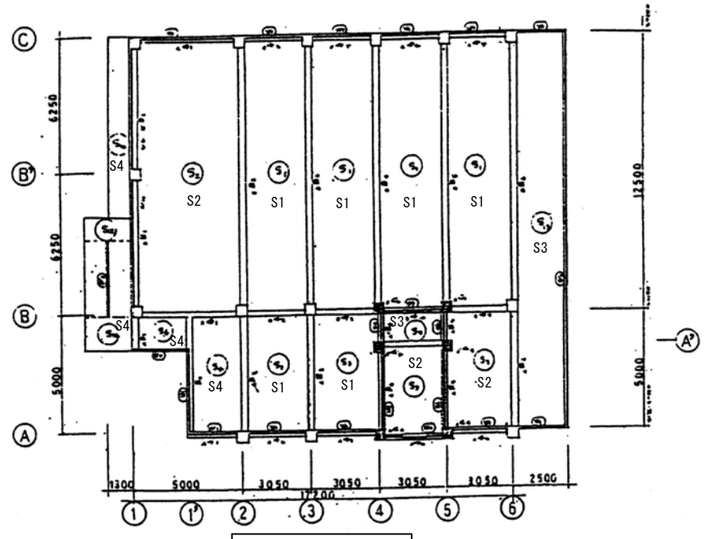
参考図

記事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第22278号 一級建築士 登録 第146134号 藤原 義弘						日付	基礎・地中梁伏図	S=1/100		S-01
		口本社 大阪市中央区今橋2－2－11 TEL 06－6223－5850 口兵庫支店 兵庫県小野市上本町240－4 TEL 0794－62－4757						R5.3		S=1/200		



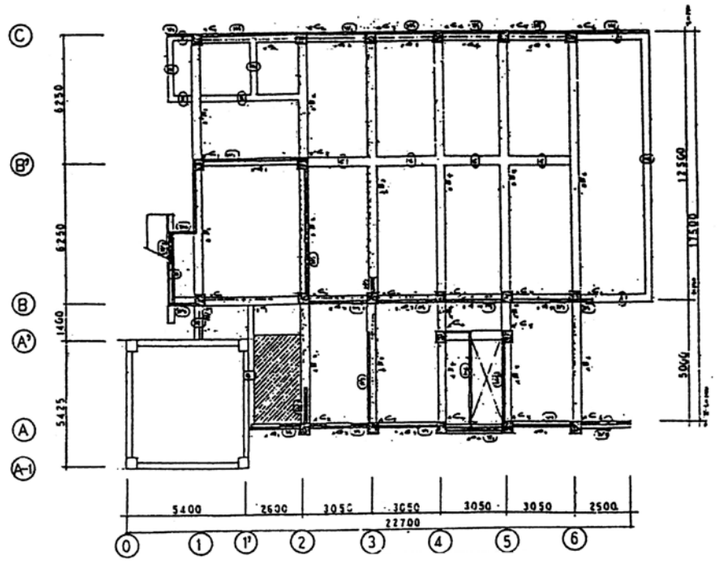
3階床伏図

(3階 柱・壁・梁)



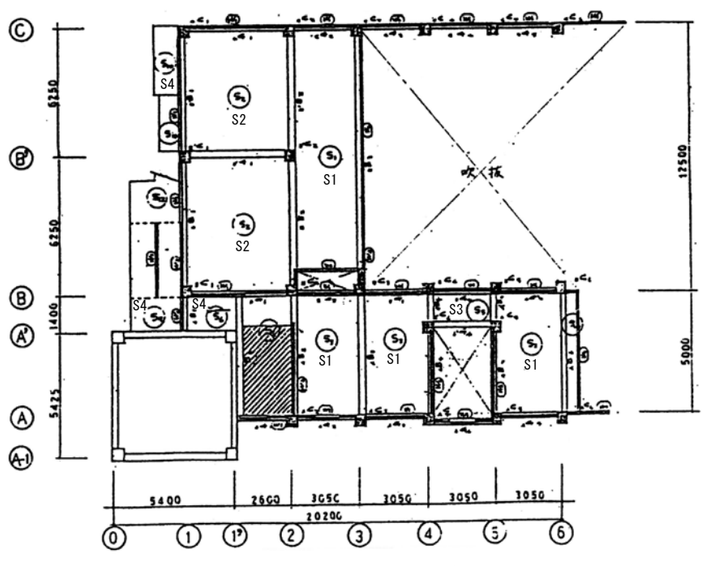
4階床伏図

(4階 柱・壁・梁)



1階床伏図

(1階 柱・壁・地中梁)

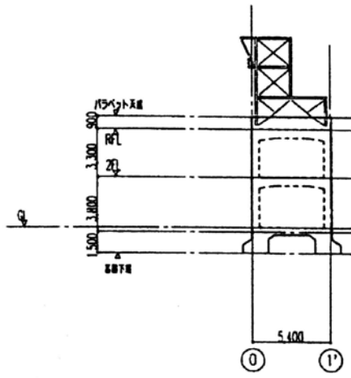


2階床伏図

(2階 柱・壁・梁)

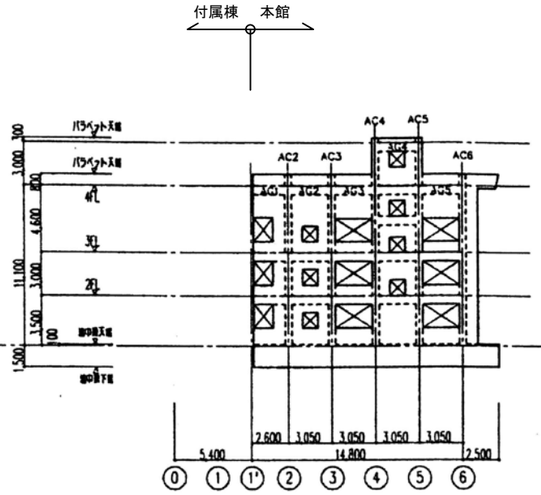
参考図

記事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所 大阪府知事登録(二)第22278号 一級建築士 登録 第146134号 藤原 義弘						日付	1-4階柱・壁・床梁伏図	S=1/200		S-02
		□本社 大阪市中央区今橋2-2-11 TEL 06-6223-5850 □兵庫支店 兵庫県小野市上本町240-4 TEL 0794-62-4757						R5.3		S=		

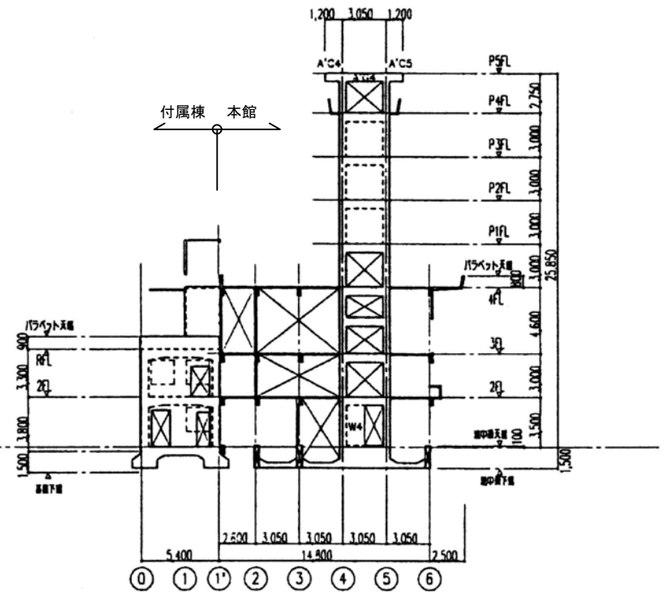


A-1 通

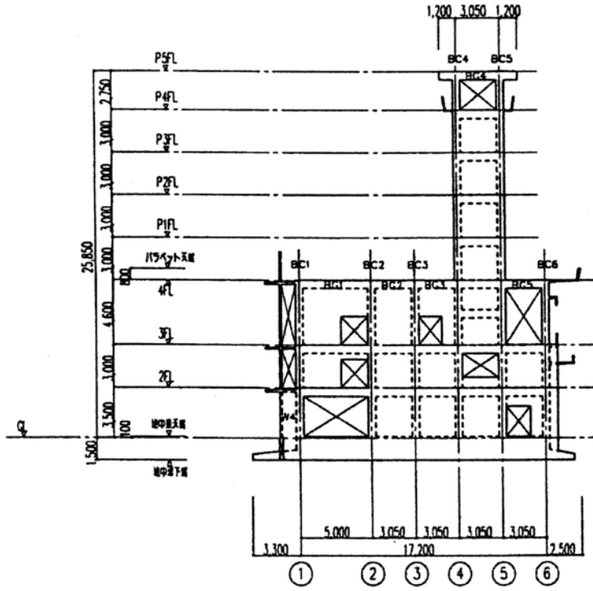
付属棟



A 通

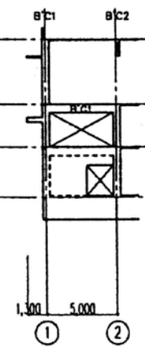


A' 通



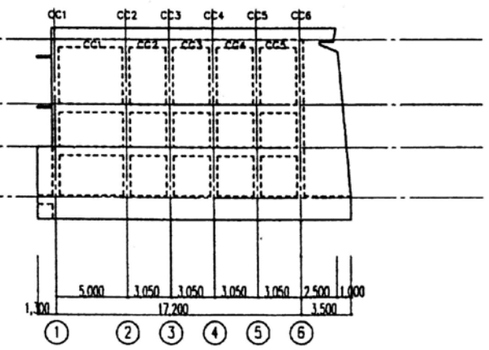
B 通

本館



B' 通

本館



C 通

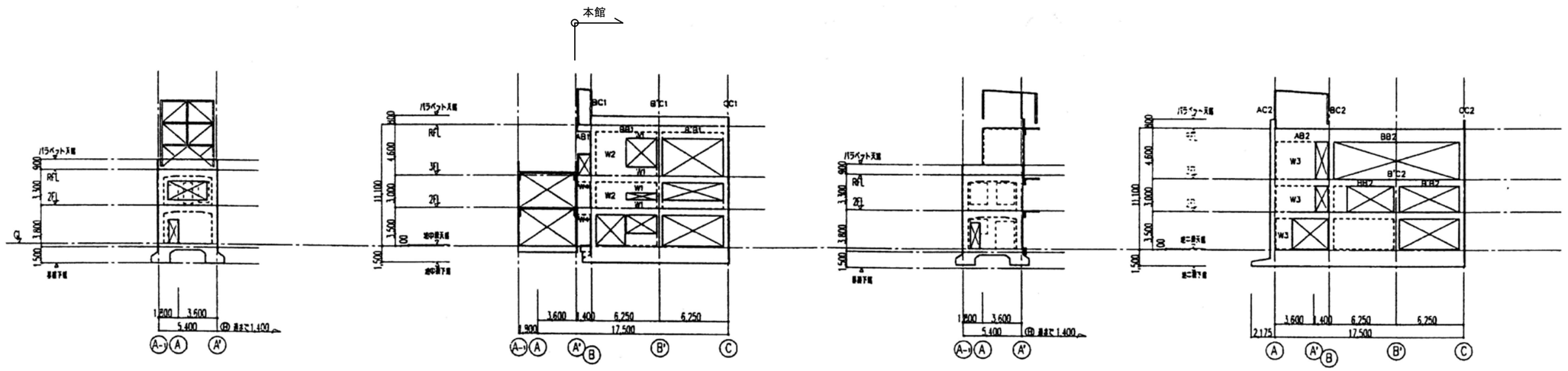
本館

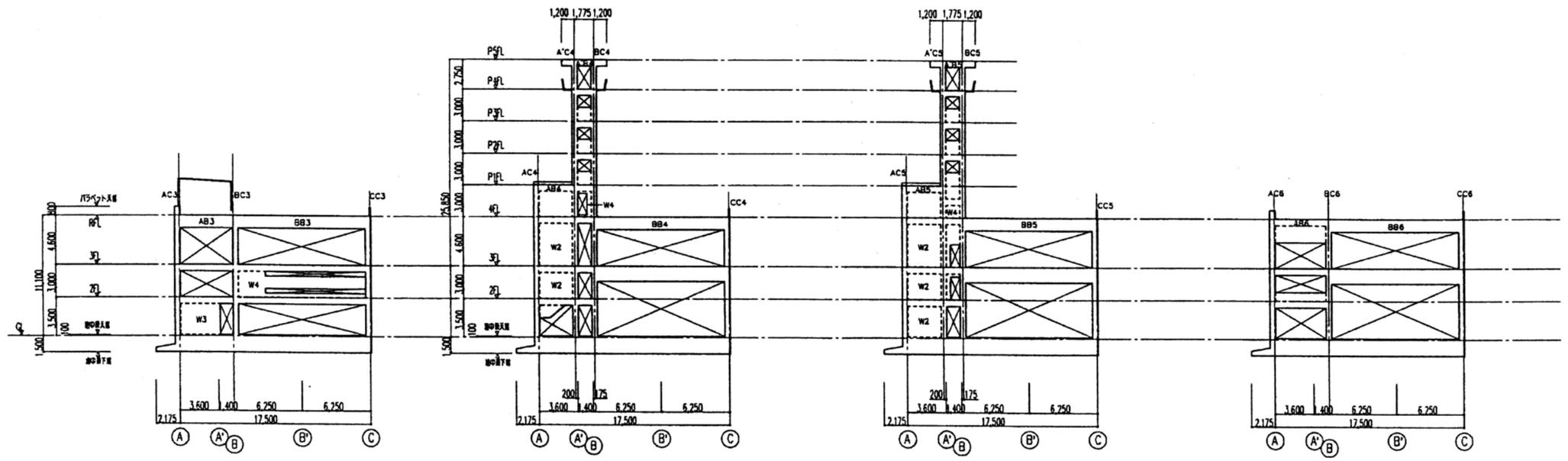
特記なき限り下記による
1. 壁記号　W1
2. 梁記号　上階にならう

凡例
W1　壁厚150
W2　壁厚150
W3　壁厚120
W4　壁厚100

参考図

記事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所　大阪府知事登録（二）第２２２７８号 一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘						日　付	軸組図１	S=1/300		S－０３
		□本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１　TEL　０６－６２２３－５８５０ □兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４　TEL　０７９４－６２－４７５７						R5.3		S=		



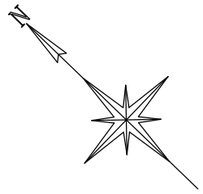


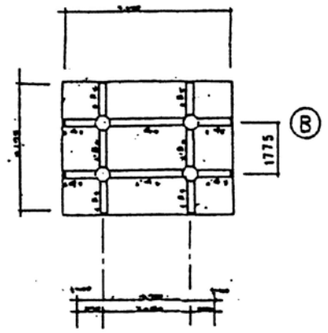
特記なき限り下記による
1. 壁記号　W1
2. 梁記号　上階にならう

凡例
W1　壁厚150
W2　壁厚150
W3　壁厚120
W4　壁厚100

参考図

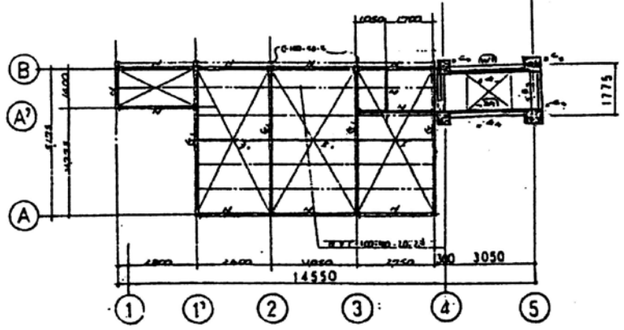
記事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所　大阪府知事登録（ニ）第２２２７８号 一級建築士　登録　第１４６１３４号　藤原　義弘						日付	軸組図２	S=1/300		S－０４
		口本　社　大阪市中央区今橋２－２－１１ ＴＥＬ　０６－６２２３－５８５０ 口兵庫支店　兵庫県小野市上本町２４０－４ ＴＥＬ　０７９４－６２－４７５７						R5.3		S=		



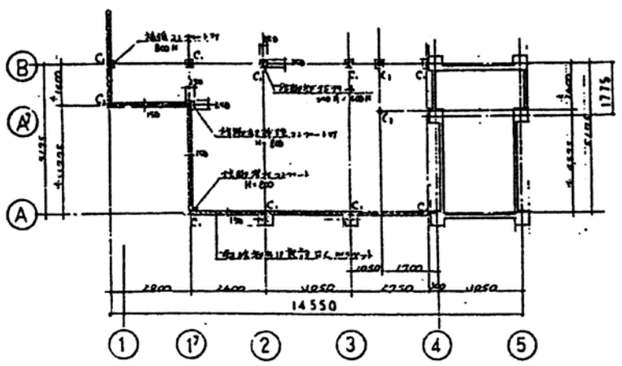


P5階屋根伏図

P4階床伏図



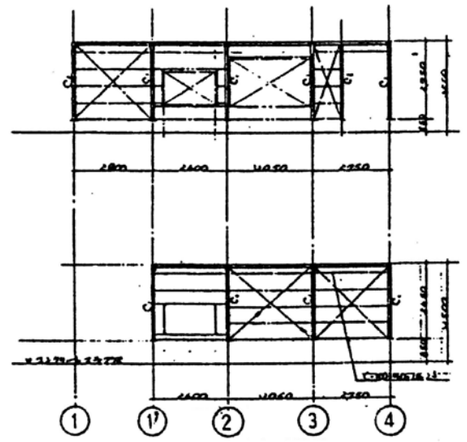
P1階屋根伏図



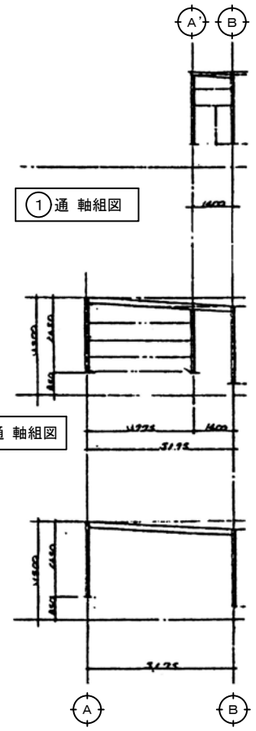
R階床伏図

Ⓑ通 軸組図

Ⓐ通 軸組図



鉄骨軸組図



①通 軸組図

①通 軸組図

②③④⑤通 軸組図

鉄骨部材リスト

C1	H-150*150*7*10
C1 (角パイプ)	□-100*100*3.2
G1	H-200*100*5.5*8
N (角パイプ)	□-100*100*3.2
t1	2C-100*50*20*2.3
母屋	C-100*50*20*2.3
胴縁	同上
壁面ブレース	19φ鉄筋
屋根面ブレース	16φ鉄筋

参考図

記事		株式会社内藤設計	所長	管理建築士	総括	担当	作図	工事名	旧守口本署解体工事	設計図	整理番号	図面番号
		一級建築士事務所 大阪府知事登録（二）第22278号						日付	床伏図・鉄骨軸組図	S=1/150		S-05
		一級建築士 登録 第146134号 藤原 義弘						R5.3		S=		

□本社 大阪市中央区今橋2－2－11 TEL 06－6223－5850
□兵庫支店 兵庫県小野市上本町240－4 TEL 0794－62－4757